お客様ご相談窓口

日立家電品についてのご相談や修理はお買い上げの販売店へ
なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。

修理などアフターサービスに関するご相談は
エコーセンターへ

TEL 0120−3121−68
FAX 0120−3121−87

(受付時間)9:00〜19:00(365日)
携帯電話、PHSからもご利用できます。

商品情報やお取り扱いについてのご相談は
お客様相談センターへ

TEL 0120−3121−11
FAX 0120−3121−34

(受付時間)9:00〜17:30(月〜土)・9:00〜17:00(日・祝日)
年末年始は休ませていただきます。
携帯電話、PHSからもご利用できます。

- 「持込修理」および「部品購入」については、上記サービス窓口にて各地区のサービスセンターをご紹介させていただきます。
- お客様が弊社にお電話でご連絡いただいた場合には、正確にご回答するために、通話内容を記録(録音など)させていただくことがあります。
- ご相談、ご依頼いただいた内容によっては弊社のグループ会社に個人情報を提供し対応させていただくことがあります。
- 修理をご依頼いただいたお客様へ、アフターサービスに関するアンケートハガキを送付させていただくことがあります。

愛情点検

●長年ご使用の冷蔵庫の点検を！

こんな症状はありませんか

- 電源コード、プラグが異常に熱い。
- 電源コードに深い傷や変形がある。
- 焦げ臭いにおいがする。
- 冷蔵庫床面にいつも水がたまっている。
- ピリピリと電気を感じる。
- その他の異常や故障がある。

故障や事故防止のため、コンセントから電源プラグをはずして、必ず販売店に、点検・修理をご相談ください。費用など詳しいことは販売店にご相談ください。

廃棄時にご注意願います

2001年4月施行の家電リサイクル法では、お客様がご使用済みの冷蔵庫を廃棄される場合は、収集・運搬料金と再商品化等料金(リサイクル料金)をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

お客様メモ

購入年月日・購入店名を記入してください。サービスを依頼されるときに便利です。

お買い上げ日	年　月　日	型式	
購入店名	電話　(　　)		

日立アプライアンス株式会社
〒105-8410 東京都港区西新橋 2-15-12　電話 (03) 3502-2111

R-SF62ZM
R-SF57ZM Ⓓ

R-SF62ZM · R-SF57ZM

HITACHI
Inspire the Next

取扱説明書

保証書別添付

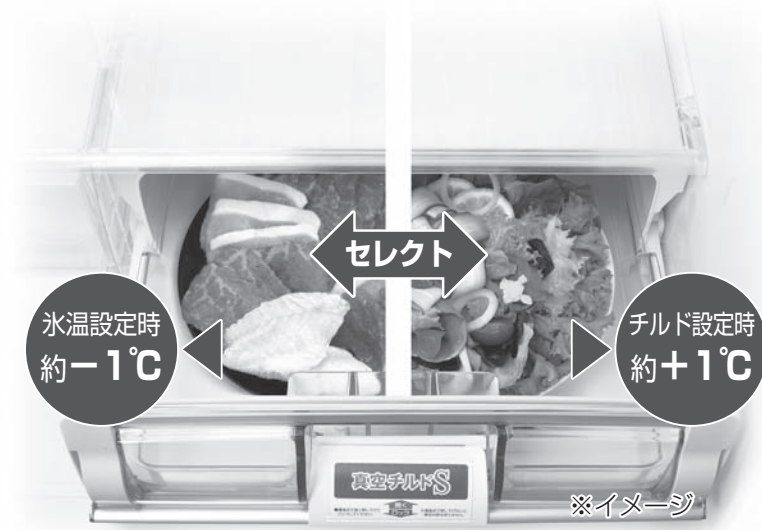
日立冷凍冷蔵庫

家庭用

型式 R-SF62ZM
型式 R-SF57ZM

(R-SF62ZM)

同梱のDVDも是非ご覧ください。

「カンタンご使用ガイド」の裏面にはってあります。

「真空氷温」と「真空チルド」を同時に選ぶことはできません。

このたびは日立冷凍冷蔵庫をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
この冷凍冷蔵庫は**家庭用**です。業務用や食品収納以外の目的にはご使用にならないでください。
この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。
お読みになったあとは、保証書・カンタンご使用ガイド・DVDとともに大切に保存してください。

「安全上のご注意」➔P.4〜5をお読みいただき、正しくお使いください。

ご購入後、初めてお使いになるときは、冷えるまでに時間がかかります。

庫内が冷えるまでに、約4時間から24時間以上かかることがあります。 ➔P.7

収納できる食品の高さを守り、食品はすき間をあけて収納してください。

食品を無理に詰めると、食品や袋がはさまり、半ドアになり、冷えが悪くなったり、氷ができなくなる原因になります。 ➔P.16,20

はじめに

真空チルドS（セレクト）

●真空保存で酸化しやすい栄養成分を守り、鮮度の維持と、食品の変質を抑えます。
●ドア操作パネルに「真空チルド」または「真空氷温を表示させてお使いください。
➔ P.14、15
同梱の「真空チルドカンタンご使用ガイド」も、合わせてご覧ください。

収納に適した食品

収納に注意が必要な食品・容器

●密封袋入り食品
収納中に袋が膨らみ、他の食品をつぶすことがありますのでご注意ください。

ご注意

ウインナーソーセージ・袋入りチーズなど

●プラスチック密閉容器
ふたが浮いたりずれることがあります。
取り出すときにご注意ください。

収納に適さない食品

●低温に弱い野菜
低温に弱く表面がくぼんだり、変色することがあります。

●肉や魚、肉魚の加工食品以外の食品を収納するときは「真空氷温」「切（氷温）」には設定しないでください。野菜や豆腐など水分の多い食品は凍結する場合があります。

フロストリサイクル冷却

●今まで使っていなかった、運転時に冷却器に付着する霜（フロスト）を有効利用。
霜の冷たさを冷蔵室・野菜室の冷却に活用するとともに、霜の水分を利用して、食品の乾燥を抑えます。

自動製氷機

●冷蔵室の給水タンクに水を入れるだけで、製氷ケース内に自動的に氷を作ります。➔ P.18、19
同梱の「自動製氷機カンタンご使用ガイド」も合わせてご覧ください。

据え付け直後は、最初の氷ができあがるまでに**24時間以上**かかることがあります。

冷蔵庫の上手な使いかた（DVD同梱）

●本製品には、DVD「上手な使いかた」が同梱されています。使いかたのポイントを、映像で説明しています。
■各室の主な特長 ■ご使用に際しての注意 ■便利な機能 ■よくあるお問い合わせ ■お困りのときは

●この取扱説明書はR-SF62ZMで説明していますが、他の機種も使い方は同じです。

もくじ

同梱のDVD「上手な使いかた」もご覧ください。

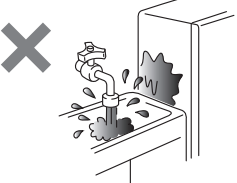
ご使用になる前に

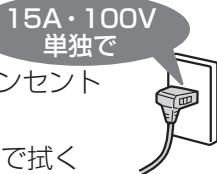
ふだんの使いかた

お手入れ

お困りのとき・アフターサービス

安全上のご注意

お使いになる人や、ほかの人への危害、財産への損害を未然に防止するため、お守りいただくことを、次のように説明しています。また、本文中の注意事項についてもよくお読みのうえ、正しくお使いください。

■ここに示した注記事項は

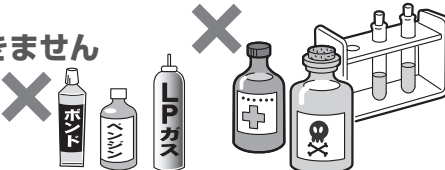
表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

表示	内容
⚠警告	この表示の欄は、「死亡または重傷を負うことが想定される」内容です。
⚠注意	この表示の欄は、「傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される」内容です。

絵表示の例

 「警告や注意を促す」内容のものです。

 してはいけない「禁止」内容のものです。

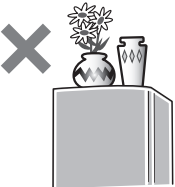
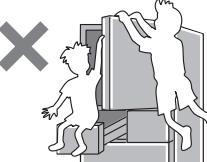
 実行していただく「指示」内容のものです。

⚠警告

据え付けるとき 火災や感電、けがなどを防ぐために

●水のかかるところには据え付けない

●湿気の多い場所・水気のある場所で使うときはアース（接地）・漏電遮断器を取り付ける（販売店にご相談ください）

●地震に備えて転倒防止処置をする ➔P.7

●すき間をあけて据えつける

電源や電源プラグ・コードは 火災や感電、けがなどを防ぐために

●傷付けない（傷んだときは使用しない）

●冷蔵庫で壁などに押し付けない

●束ねない

●ぬれた手で抜き差ししない

●コードを持って抜かない

●タコ足配線、延長コードは使用しない

●コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない

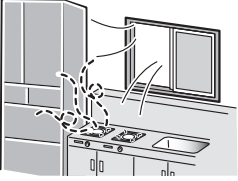
●定格15A交流100Vのコンセントを単独で使う

●定期的にプラグを乾いた布で拭く

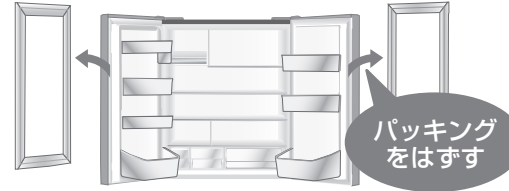
●コードを下向きに、電源プラグは根元まで確実に差し込む

●お手入れの際は抜く ➔P.23

●長期間使用しないときは抜く

収納できないもの 厳密な温度管理が必要なものは保存できません

●薬品や学術試料を入れない

●引火しやすいものを入れない（引火爆発する危険があります。）

ふだんご使用のとき 火災や感電、けがなどを防ぐために

●本体や庫内に水をかけない

●冷蔵庫の上にものを置かない

●可燃性スプレーを近くで使わない

●自動製氷機の機械部には手を触れない

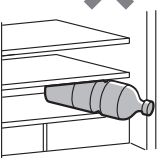
●ドアにぶら下がらない、乗らない

●庫内では電気製品を使用しない

●分解・修理・改造は絶対にしない

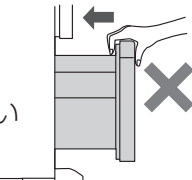
●下がって届くん棚にぶら下がらない

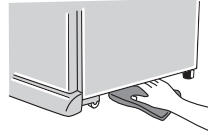
⚠警告

もしものとき 火災や感電、けがなどを防ぐために

●異常や故障のときは、電源プラグを抜き運転を中止する

●可燃性ガスが漏れているときは、冷蔵庫に触れず窓を開け換気する

●冷却回路（側面や背面・天面）を傷つけたときは換気して販売店に相談する

廃棄するとき

●リサイクルや保管時の幼児閉じ込みが懸念される場合は、ドアパッキングをはずす

⚠注意

食品を収納するとき 病気やけがを防ぐために

●ドアポケットの底面まで入らないボトル類は入れない（無理に入れない）

●食品は棚より前に出さない

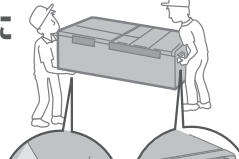
●におったり変色した食品は食べない（腐敗により病気の原因になることがあります）

●冷凍室にビン類を入れない

●冷凍室の食品や容器（特に金属製）をぬれた手で触らない

●下がって届くん棚に収納する食品は、

・積み重ねない　・棚よりはみ出さない　・こぼれやすい食品は密閉する

●下がって届くん棚の仕切り板およびワイヤは、取付けて使用する

ドアを開け閉めするとき けがを防ぐために

●冷蔵室ドアの上面・下面・側面を持って閉めない

●冷蔵室ドアの取っ手に手をかけたまま引き出しドアを開閉しない

●引き出し上面・下面・側面を持って閉めない

●最下段の引き出しドアに足を近づけすぎない

●他の人が触っているときは開けない

お手入れのとき けがを防ぐために

●冷蔵庫底面に手や足を入れない

●自動製氷機の機械部に手を入れない

移動・運搬のとき 床材を傷つけたり、冷蔵庫内部に残っている水がこぼれ濡らしたり、けがを防ぐために

●横積み輸送はしない

●取っ手をクレーン等で吊らない

●ドアの取っ手を運搬時に使用しない

●汚れや傷を防ぐ保護用のシート・布などを敷く

●運搬用取っ手を持って、ドアを上にして、2人以上で運ぶ

●食品や氷を取り出し、給水タンクの水をすてる

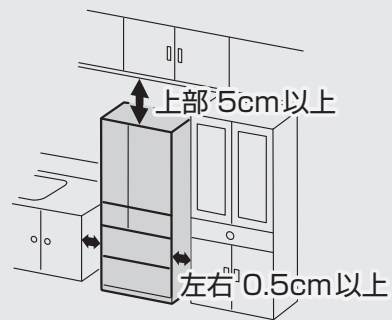
●ドアが開かないようテープで固定する

ご使用になる前に

1 次のような場所に設置してください

●床が丈夫で、水平なところ
　じゅうたん、畳、フローリング、塩化ビニールの床で変形、変色の恐れがある場合は板（1cm厚）を敷いてください。
●熱気・直射日光が当たらないところ
●湿気が少なく、風通しの良いところ
　冷却力の低下や、電気代の増加をおさえます。また、変色やさびをおさえます。

2 周囲に放熱スペースをあけてください

●効率良く冷やすために、周囲に十分な放熱スペースをあけてください。
●本体側面中央部は表示寸法より若干大きめになっています。
　余裕を持って設置してください。
●背面は壁に付けられます。
　振動音がする場合、または壁の変色や汚れが気になる場合は、
　すき間をあけてください。

3 ドアの平行調整をする

●据え付け場所が水平でなかったり、床材がやわらかくて、食品の重みが加わり脚が沈んだり
　することにより、ドアが若干ずれることがあります。
→機能上問題ありませんが、気になる場合は下記の手順で平行調整を行ってください。
　左右水平にし、前側をやや上げ気味みすると
　ドアが閉まりやすくなり半ドアを防げます。

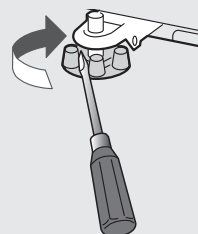
1 **脚カバーの両端を持って、手前に強く引いてはずす。**

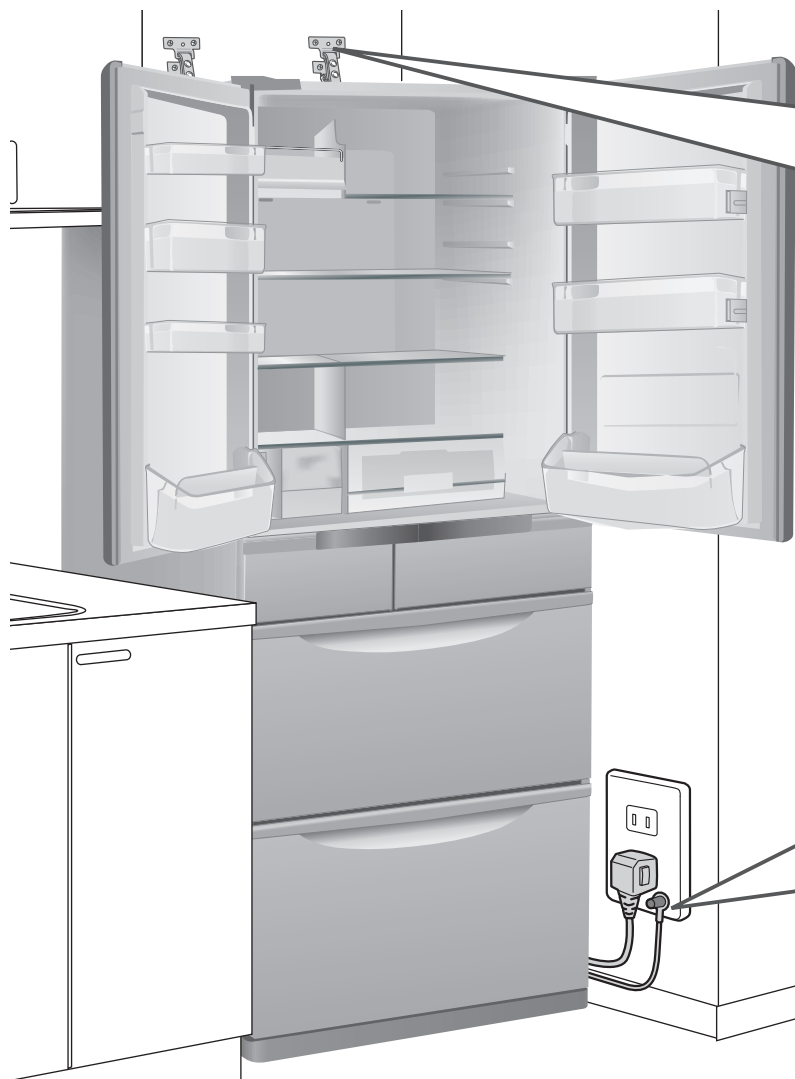
2 **調節脚を回して、脚を床面まで降ろし固定する。（左右2ヶ所）**

■左ドアが下がっている　■右ドアが下がっている

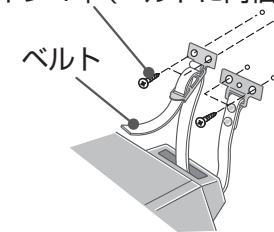
3 **ドアが下がっている側の調節脚を、冷蔵室ドアが平行になるように回して調整する。**
●調節脚を回す量は、ドア段差1mmにつき1回転を目安に。
●調整後、冷蔵庫本体が床になじむまでに数日かかることがあるため、調整したはずのドアに段差ができることがあります。段差ができたときは、再度手順に沿って平行調整を行ってください。
●それでも傾きが直らないときは、
　別売品：「扉調整プレート」
　（部品番号 R-Y6000 500）を
　お使いください。

■調節脚が回し難いとき
　ドライバー等を使用して押し回してください。

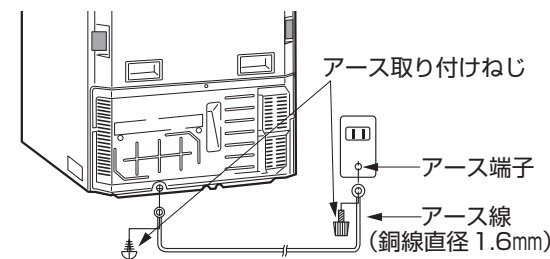
4 **脚カバーの突起（左右）を穴に差込み、取り付ける。**

4 ご購入後、初めてお使いになるときは

●冷蔵庫の周囲の温度や、食品の収納状態によって庫内が十分に冷えるまでに**約4時間から長いときには24時間以上**かかることがあります。
●初めて自動製氷をお使いのときは、自動製氷のおそうじ「製氷おそうじ」をしてください。➔ P.26
●自動的におこなう一連の製氷動作は庫内が十分冷えてから開始します。
　（使いはじめは、**最初の氷ができるまでに24時間以上**かかることもあります。）
●早く冷やすために、ドア開閉を極力少なくしてください。
●食品はすき間をあけて収納してください。
●使いはじめにプラスチックからのにおいがする場合があります。念のためにおいがこもらないように部屋の風通しをよくしてください。においは次第に消えます。

地震への備えは大丈夫ですか？

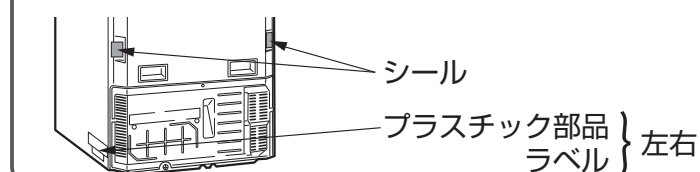
●「冷蔵庫転倒防止ベルト」を２個ご使用いただき、丈夫な壁や柱に固定していただくことをおすすめします。
●別売品：「冷蔵庫転倒防止ベルト」（部品番号 R-826CV 300：1本入り）
　詳しくは販売店にご相談ください。

ネジ4本（ベルトに同梱）
ベルト

■据え付け後、すぐに電源プラグを差し込んでも大丈夫です。
■コンセントは単独で。（交流100V、定格15A以上）

万一の感電防止のためにアースをおすすめします。

●特に水気の多いところに据え付ける場合はアースや漏電遮断器の取り付けを販売店へご相談ください。
●別売品：「アース線（2.5m）」（部品番号 NW-60R6 052）

アース線を接続してはならないところ
●水道管（感電の危険）
●ガス管（爆発の危険）
●電話線や避雷針のアース（落雷のとき危険）

お知らせ
●背面のシールは、はがさないでください。性能、安全性を保つためのシールです。
●側面下部のプラスチック部品とラベルは、はずさないでください。

シール
プラスチック部品
ラベル
} 左右

※硫化ガス噴出の温泉地区等に据え付ける場合は、配管の防さび処理が必要となる場合がありますので、あらかじめ販売店にご相談ください。また、ガス害による故障は保証の対象外となります。

操作パネル・各室のなまえ・収納する場所

冷蔵室ドア操作パネル

● 冷蔵室ドアの操作パネルで、便利な機能の設定や庫内温度の調節ができます。

便利な機能	
真空チルド (1)	真空チルドボタンを押して「真空チルド」「真空氷温」「切(氷温)」を選択します。➔P.14 出荷時は「真空氷温」になっています。
急冷機能 (2)	急冷ボタンを押して「急冷凍」「急冷蔵」「急冷凍・急冷蔵(同時)」を選択します。
急冷蔵	冷蔵室を強く冷やします。食品や飲み物を急いで冷やしたいときに。➔P.13
急冷凍	冷凍室を強く冷やします。素早く冷凍したいときに。➔P.17
急冷凍 急冷蔵 (同時)	冷凍室、冷蔵室とも強く冷やします。単独で「急冷凍」や「急冷蔵」を設定したときより効果が弱まります。
製氷機能 (3)	製氷ボタンを押して氷のサイズ「標準」「大きめ」を選択します。➔P.19 自動製氷を使わないときは、「停止」を選択します。
製氷おそうじ	製氷ボタンを５秒以上押しつづけると、製氷皿や給水路の水洗いができます。➔P.24
チャイルドロック	操作パネルの誤操作を防止したいときは冷蔵ボタンを３秒以上押しつづけて ⊸(チャイルドロック)表示を点灯させてください。➔P.32
確認	「確認」が点滅しているときは、異常があることをお知らせしています。➔P.31

温度調節	
冷蔵室 (4)	冷蔵ボタンを押して設定します。➔P.13 通常は「中」の位置でお使いください。
冷凍室 (5)	冷凍ボタンを押して設定します。➔P.17 通常は「中」の位置でお使いください。

お知らせ

● 操作終了後、一定の時間が経過すると全ての表示文字が消灯します。点灯させるにはいずれかのボタンを押してください。
● 冷蔵室ドアを開放中は誤操作を防止するため、操作パネルを押しても反応しません。
● ドア開放時間が一定時間になると、全ての表示文字が点滅します。➔P.32

➔P.17 通常より低温で、おいしく保存したいもの冷凍食品のおいしさ長持ち

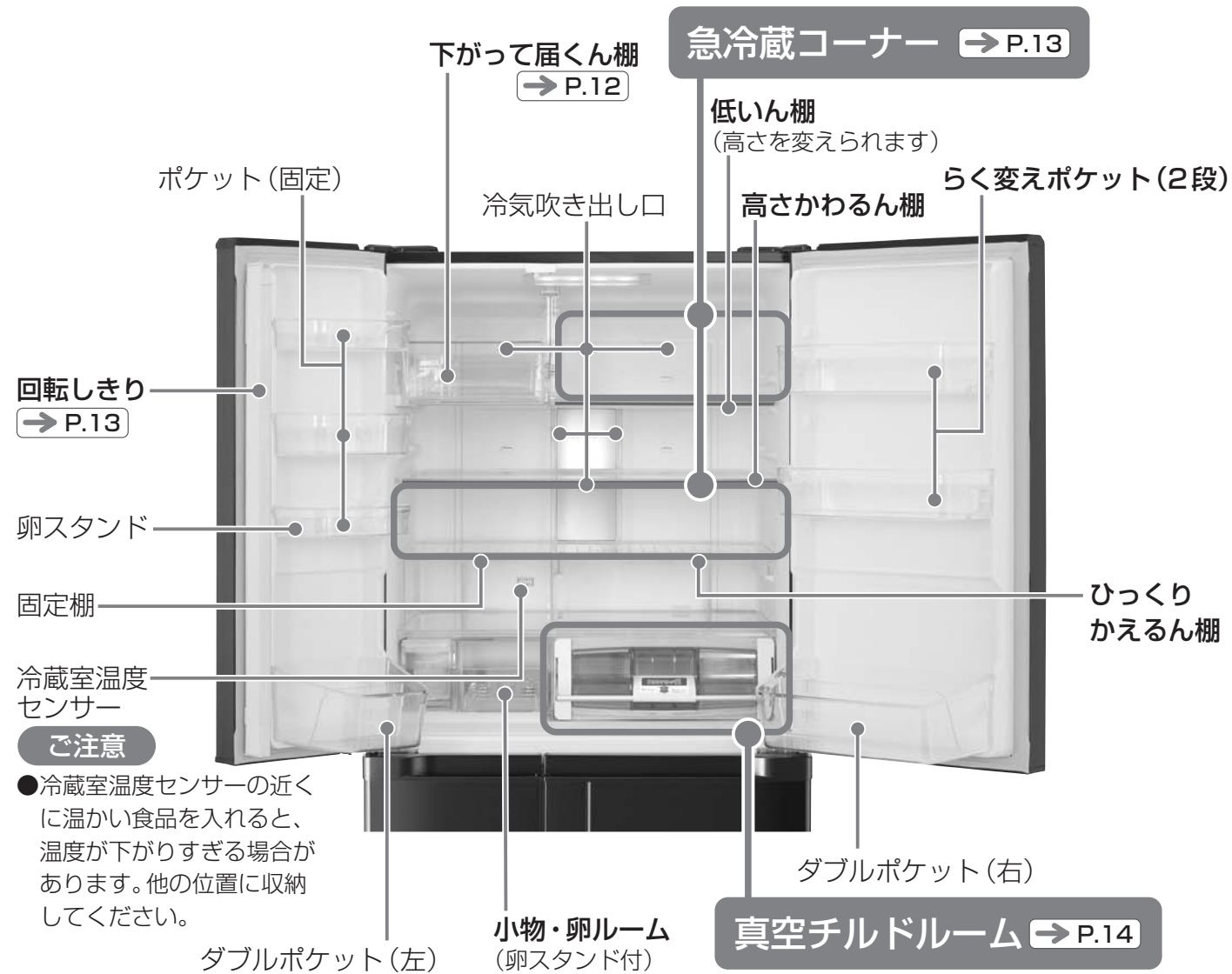
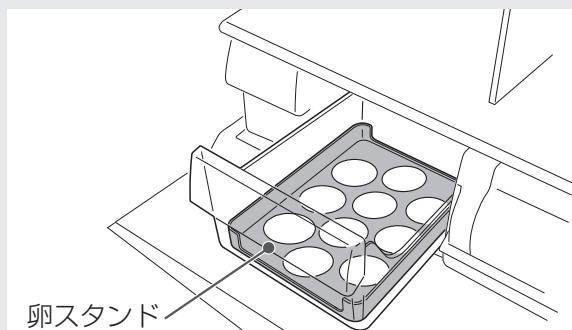
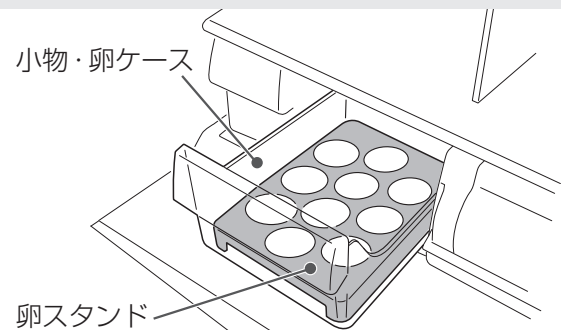
野菜室
約3℃～7℃

➔P.20 野菜・果物・飲料

温度は周囲温度30℃、食品を入れずにドアを閉め温度が安定したときの目安値です。夜間や留守中など、長時間食品の出し入れがない場合は、圧縮機が低速で運転しますので、振動が大きくなることがあります。

冷蔵室

ご注意

●冷蔵室温度センサーの近くに温かい食品を入れると、温度が下がりすぎる場合があります。他の位置に収納してください。

小物・卵ルーム

●卵を10個収納できます。

●卵スタンドを裏返すと小形チルド食品を入れることができます。

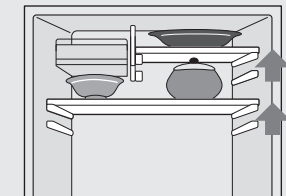
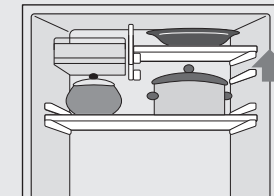
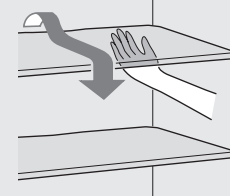
ご注意

●冷蔵室ドアを閉めるときは、真空チルドケース、小物・卵ケース、下がって届くん棚を押し込んだ状態でドアを閉めてください。引き出した状態でドアを閉めると、ドアやケース、食品を破損することがあります。
●冷気吹き出し口付近は温度が低くなるので、水分の多い食品や缶飲料は置かないでください。凍結したり破損する恐れがあります。
●開け閉めの回数が多いときや、庫内の湿度が高いときは壁などが曇ったり、冷気吹き出し口のまわりに露がつくことがあります。
●水や食品汁をこぼしたときは、すぐにふき取ってください。

棚・ポケットが調整できます

食品や飲料の大きさにあわせて棚やポケットの位置を簡単に替えることができます。
収納されている食品は必ず取り除いてから調整します。

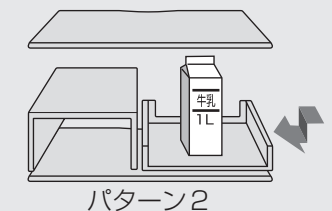
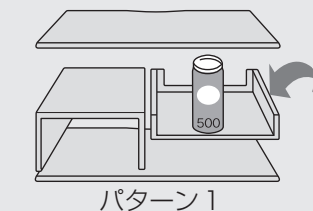
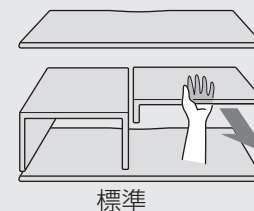
■高さかわるん棚・低いん棚

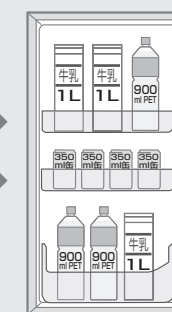
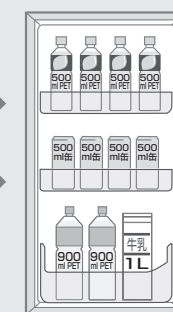
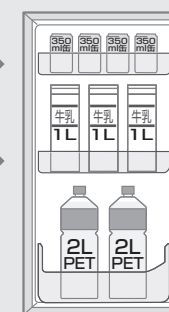
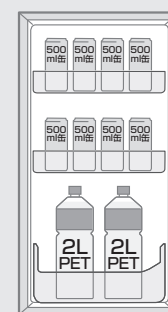
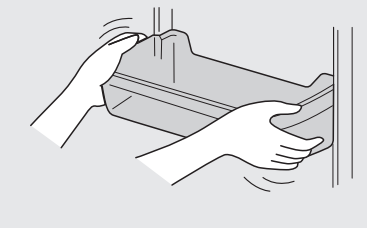
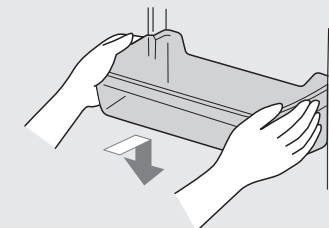
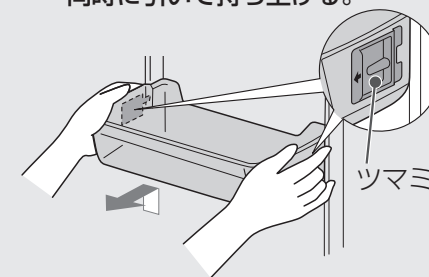
1. 棚の奥を少し持ち上げて、手前に引き出してはずす。
2. お好みの高さに合わせ、棚を奥面に当たるまで入れた後に棚の奥を少し持ち上げて押し込む。(棚の爪を奥面部品へ引っ掛ける)

■ひっくりかえるん棚

1. 棚を少し持ち上げてはずす。
2. ひっくり返して最上段または最下段にセットする。

標準

パターン1

パターン2

■らく変えポケット

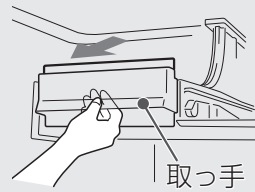
1. ポケットの両側のツマミを同時に引いて持ち上げる。
2. 取り付けたい位置に移動し、ポケットを押し下げる。
3. 取り付けたら、ポケットを上下に動かして、はずれないことを確認する。

ご注意

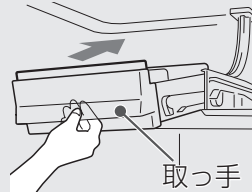
●高さを変えるときは、はじめに、収納している食品を取り出してください。食品が落下し、けがをすることがあります。
●高さを変えたら、ポケットを上下に動かしてはずれないことを確認してください。確実に取付けられていないと落下し、けがをすることがあります。
●らく変えポケットのツマミのバネに注油をしないでください。(バネはステンレス製です。)注油するとプラスチックが割れることがあります。

冷蔵室 ～つづき～

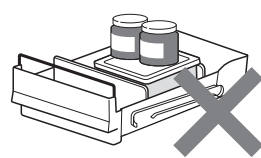
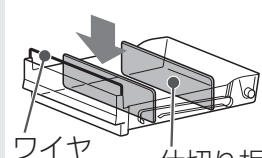
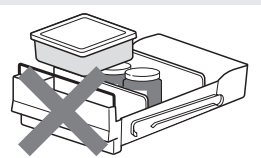
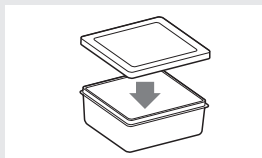
下がって届くん棚（棚ごと手前に引き下げ、低い位置で食品を出し入れできます。）

引き出すとき

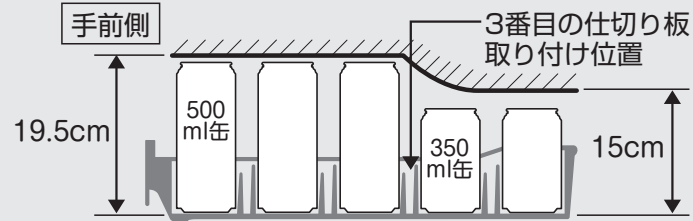
取っ手を持って手前にゆっくり引き出します。

押し込むとき

取っ手を持って奥までゆっくりと押し込んでください。

ご注意
- 取っ手以外の場所を持ったり、ぶら下がったりしないでください。棚が外れたり、破損することがあります。
- 下がって届くん棚を引き出したまま、冷蔵室のドアを閉めないでください。ケースや食品を破損したり、半ドアになることがあります。

食品の収納について

■下がって届くん棚は、引き出したときに斜めになるため、取扱いには十分ご注意ください。

食品は積み重ねない。
引き出したときに、積み重ねた食品が落下したり、破損することがあります。

仕切り板およびワイヤは必ず棚に付けて使用する。
引き出したり押し込むときに食品が落下したり破損することがあります。食品の落下・転倒を防ぐために仕切り板およびワイヤは必ず取り付けて使用してください。

食品は棚よりはみ出さない。
引き出したときに、はみ出した食品が落下したり、破損することがあります。

中味がこぼれやすい食品は、密閉容器に入れる。
引き出したり押し込むときに食品の中味がこぼれることがあります。

収納できる食品の高さ

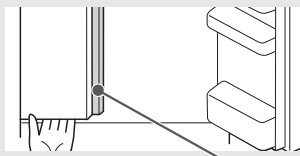
〔R-SF62ZM型・R-SF57ZM型〕

●**収納できる食品の高さを守ってください。**

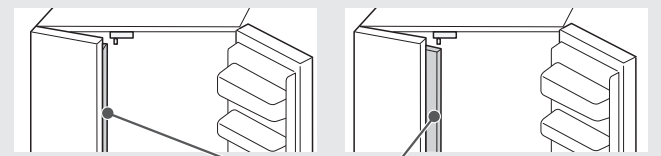
冷蔵庫の天井は奥側が低くなっています。左図を目安にして食品がはみ出さないように収納してください。

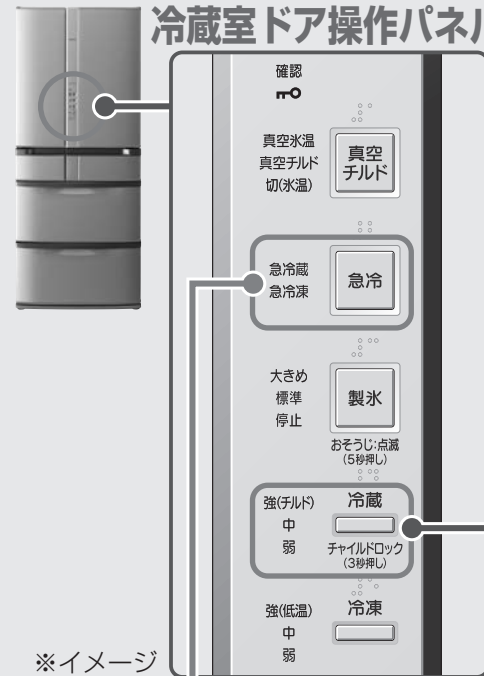
ご注意
- 高さのある食品を、左図指定の仕切り板取り付け位置よりも奥に収納すると、ケースや食品を破損することがあります。

※仕切り板は2枚付属しております。

回転しきり

■ドアを開けるとき

- 右側のドアが開いている状態で、左側のドアを開けるとき、回転しきりを持って開けないでください。

■ドアを閉めるとき

- 回転しきりを起こした状態でドアを閉めないでください。

冷蔵室の温度を調節する

冷蔵室温度調節（⠼⠙）　冷蔵ボタンを押して調節します。
周囲温度30℃で、食品を入れずにドアを閉め、安定したときの目安です。

設定	温度
強（チルド）	"中"より約1～3℃低め
中	約2～6℃
弱	"中"より約1～3℃高め

お知らせ
- 通常は"中"の位置でお使いください。温度は使用条件により多少変動します。
- 設定"強"または"弱"にしますと、真空チルドルーム、小物・卵ルームの温度も変わります。
- 設定"強"でお使いの場合は小物・卵ルームの卵が凍結する場合がありますので、ドアポケットに収納してお使いください。
- ドアポケットは、上表の温度より若干高めになります。
- 温度をさらに細かく調節することができます。→ P.31
- 点字は上から順に続き番号（1～5）になっていますので、身近な健常者が取扱説明書の内容を説明してあげてください。

急冷蔵（急いで冷やすとき）

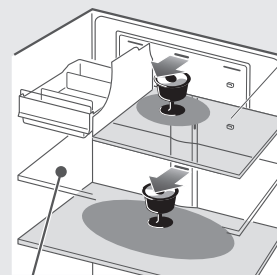
1 急冷蔵コーナー（高さかわるん棚）に食品を置く

2 急冷ボタンを押して「急冷蔵」表示を点灯させる※

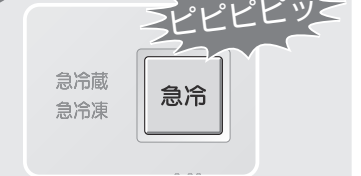
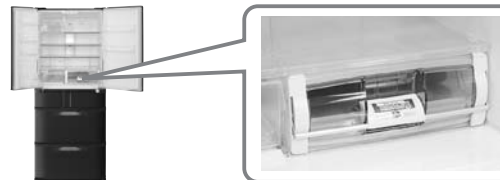
3 約45分で「急冷蔵運転」を自動終了

ピピピピッ
急冷蔵
急冷凍
急冷

途中で止めるときは急冷ボタンを押して表示を消灯させる

ピピッ
急冷蔵
急冷凍
急冷
表示消灯

- 中央部奥に置くとより早く冷えます。（冷気吹き出し口前）
- 水分の多い食品や缶飲料は背面からはなして置くか、下の棚に移動してください。凍結したり、破裂することがあります。

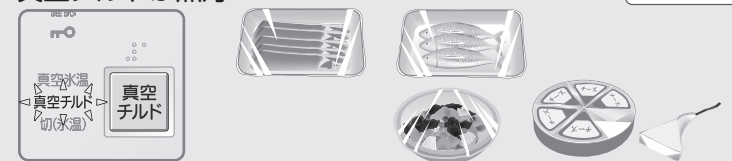
※操作終了後、一定の時間が経過すると表示は消灯します。

お知らせ
- 急冷凍（→ P.17）機能と同時に使用している時など冷蔵庫の運転状態によって効果が弱くなる場合があります。

真空チルドルーム

- 真空ポンプによって、容器の中の気圧を下げ、低酸素状態にします。更にビタミンカセットにより、食品の酸化を抑えます。
- 酸化を抑えることで、栄養成分や風味を従来よりも長持ちさせることができます。
- 食品にラップをしても真空による効果は変わりません。

お使いの準備

■ドア操作パネルに、「真空チルド」（約1℃）または「真空氷温」（約−1℃）を表示させてお使いください。※「切（氷温）」にして、通常の氷温室（約−1℃）としてもお使いいただけます。

真空チルド（肉・魚・野菜・乳製品など）

真空チルドが点灯　詳しくは ➔ P.2

真空氷温（特に肉や魚、肉魚の加工食品の保存に）

真空氷温が点灯

お知らせ

- 真空チルドより低い温度で保存しますので、水分の多い食品は凍結する場合があります。

ご注意

- 収納に適さない食品、収納に注意が必要な食品・容器があります。➔ P.2
- 肉や魚、肉魚の加工食品以外を収納するときは、「真空氷温」「切（氷温）」には設定しないでください。野菜や豆腐など水分の多い食品は凍結する場合があります。
- 切（氷温）設定時は、真空機能は働きません。
- 上記温度は周囲温度30℃、冷蔵室温度調節「中」で、食品を入れずにドアを閉め温度が安定したときの目安です。

※操作終了後、一定の時間が経過すると表示は消灯します。

ドアを開けるとき、閉めるとき

開けるとき

ドアのハンドルに下から手を掛けて、引き上げてロックをはずします。

「シュー」という音が消えてから手前に引き出します。

お知らせ

- 「シュー」と音が聞こえている間はドアは引き出せません。

閉めるとき

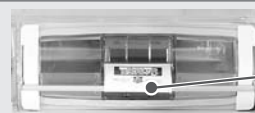
ハンドルに手を当てて奥まで押し込みます。

ハンドルを最後までしっかり下げてドアをロックします。

お知らせ

- ハンドルを最後までしっかり下げないと真空チルドが正常に動作しません。

真空解除弁

ハンドルを上げてロックをはずすと、真空解除弁により真空が解除され、容易に開閉できます。

ビタミンカセット

■低酸素状態のときにビタミンを放出して食品の栄養素を長持ちさせます。

ビタミンカセット
真空チルドケース

- 真空チルドケースを水洗いする際にはビタミンカセットを必ず取りはずしてください。
- ビタミンカセットは水洗いしないでください。水洗いしてしまうと、酸化防止効果が低下しますので交換をおすすめします。（部品番号R-Y6000 028）
- ビタミンカセットは、分解しないでください。
- ビタミンカセットは所定の位置に取り付けてご使用ください。真空チルドのドアがきちんとしまらないことがあります。

※ビタミンカセットの定期的な交換は不要です。

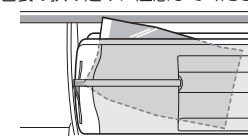
水洗い禁止

お知らせ

- 真空パッキンや真空解除弁（青色）に食品の包装などが挟まったり、汚れや糸くず、ごみが付着すると真空チルドが正常に動作しません。食品の入れすぎによる、包装の挟み込みに注意してください。
- 真空パッキンや真空解除弁（青色）がはずれたり、緩んでいると真空チルドが正常に動作しません。しっかりと取り付けてください。
- 「真空氷温」・「真空チルド」の表示が点滅するときは、真空機能が正常に動作していないことがあります。➔ P.29
- 真空チルドルーム内を低酸素状態にするために真空ポンプが動作を始めると、音や振動が起こりますが、異常ではありません。
- 冷蔵室ドアを閉めるときは、真空チルドルームのドアを閉じた状態で閉めてください。ドアが開いた状態で冷蔵室ドアを閉めると、ドアやケース、食品を破損することがあります。
- 真空チルドルームのドアをロックして冷蔵室のドアを閉じると真空ポンプが動作します。真空ポンプが動作してから真空状態になるまでに、約2分かかります。2分以内にドアを開けても「シュー」と音がしない場合がありますので確認は2分以上待ってから行ってください。

包装の挟み込みに注意してください。

表示点滅

真空氷温
真空チルド
切(氷温)

お手入れのしかた

●お手入れは月1回

真空チルドケース

■はずしかた

●ドアを手前いっぱいに引き出します。

1. 真空チルドケースの手前側を軽く持ちあげてドアの軸からはずします。

2. 真空チルドケースを滑らせるように引っぱり出します。

- 真空チルドケースを水洗いする際にはビタミンカセットを必ず取りはずしてください。

■取り付けかた

1. 真空チルドケースを滑らせるように本体の中に入れます。

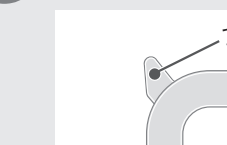
2. 真空チルドケース手前の軸受けとドアの軸を合わせて取り付けます。

真空パッキン

1. ドアを手前に引き出し、真空チルドケースをはずしてください。（左参照）
2. 真空パッキンと真空パッキン受け部を、やわらかい布にぬるま湯を含ませて、ふいてください。

■拭いても真空パッキンの汚れが落ちないときは取外して水洗いをしてください。

3. 向かって右上の真空パッキンのつまみに手をかけてていねいにはずします。

4. 汚れた部分を柔らかいスポンジなどで水洗いし、乾いた布などで水気を十分にふき取ってください。
5. ドアの真空パッキン取付溝の汚れをふき取ってください。
6. 真空パッキンのつまみをドアの切り欠きに合わせてしっかりと取り付けてください。

7. 真空チルドケースを取り付けてください。（左参照）

ご注意

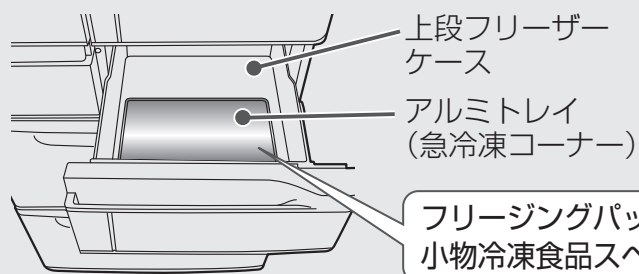
- 真空チルド内部やドア周辺に露などの水滴がたまったときや霜がついたときは、乾いた布でふき取ってください。
- ぬるま湯以外の洗剤などを使用すると部品が破損・変形・変色し、真空状態を保持できなくなることがあります。
- 周囲温度が低いとき、水分の多い食品は凍結することがあります。
- 真空チルドケースと真空パッキン以外は、はずさないでください。
- 水や食品汁をこぼしたときは、すぐにふき取ってください。

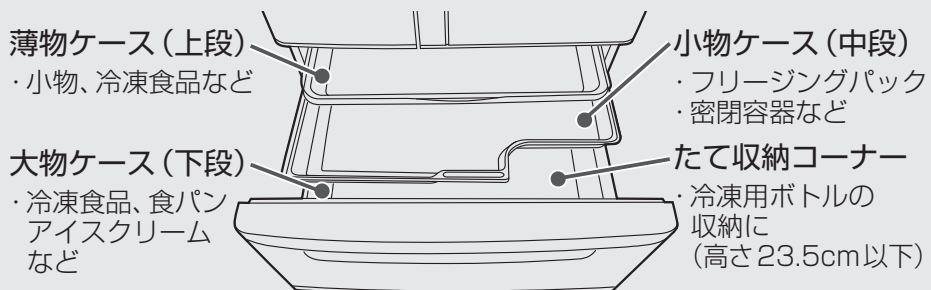
- 真空チルドでお困りの時は…➔ P.29「お困りのとき」をご覧ください。
- 真空パッキンが古くなり、真空が引けなくなったら交換してください。➔ P.33

冷凍室

冷凍室上段

■すばやく凍らせてうまみを封じ込める急冷凍機能があります。
→ P.17

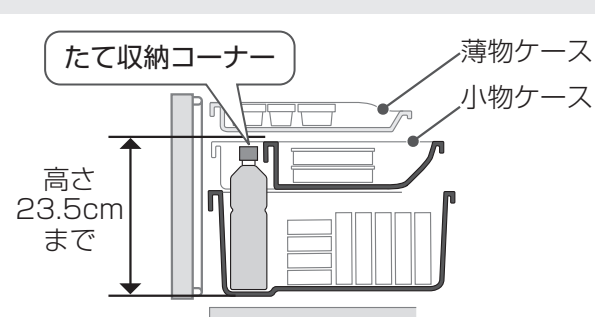
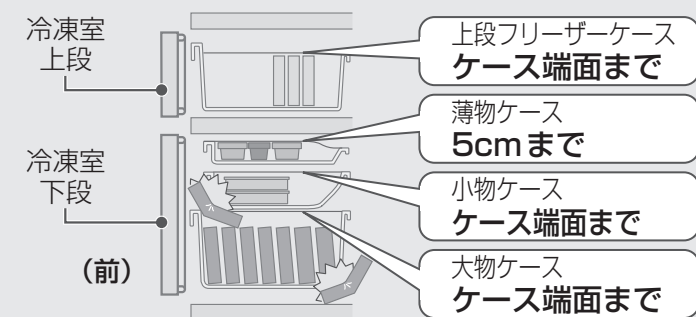
・肉や魚を早く冷凍するときにお使いください。

冷凍室下段

■内蔵３段ケースでたっぷり収納できて、すっきり整理ができます。長く保存するものや、溶けやすいアイスクリームなどの収納に適しています。

●冷凍室上段のアルミトレイを薄物ケース左側に移動すると、急冷凍コーナーとして使用できます。

製氷室（自動製氷機）のつかいかたは
→ P.18

収納できる食品の高さ

■各ケースに収納できる食品の高さを守ってください。

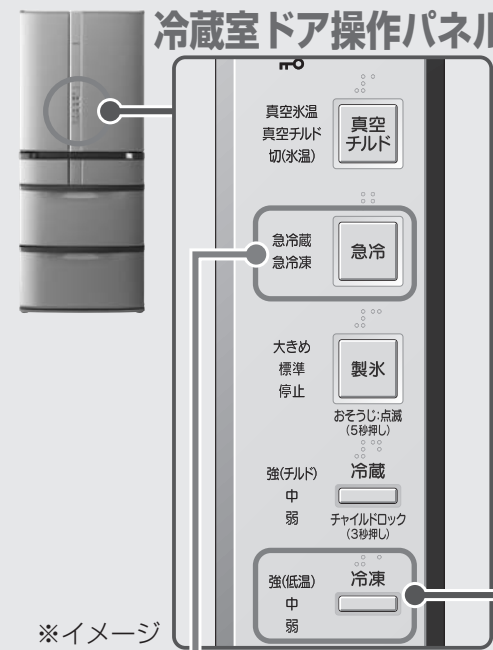
・ドアが確実に閉まらなくなり、冷えが悪くなります。また、食品や各ケースを破損することがあります。

●薄物ケースに500mLのペットボトルを入れないでください。ペットボトルが凍ると膨張して取り出せなくなります。

●薄物ケースおよび小物ケースをはずしたまま使用しないでください。

・食品が詰まったり、ケース奥側に落ちて、ドアが閉まらなくなることがあります。

●たて収納コーナーに背の高い食品を収納する場合は、薄物ケースや小物ケースに当たらないように注意してください。

●冷凍専用ペットボトルなど、凍らせてもよい食品のみ収納してください。

冷凍室の温度を調節する

冷凍室温度調節	冷凍ボタンを押して調節します。周囲温度30℃で、食品を入れずにドアを閉め、安定したときの目安です。
強（低温）	約−23～−20℃（低温冷凍）
中	約−20～−18℃
弱	約−18～−15℃

お知らせ

●通常は"中"の位置でお使いください。温度は使用条件により多少変動します。

●急冷凍運転時は、上記の温度よりさらに低めの温度になります。

●強（低温）で長時間ご使用になると、アイスクリーム等が固くなったり、保存していた食品の解凍時間が長くなったりします。

●温度をさらに細かく調節することができます。→ P.31

●点字は上から順に続き番号（1～5）になっていますので、身近な健常者が取扱説明書の内容を説明してあげてください。

急冷凍

1 冷凍室上段のアルミトレイの上にラップをした食品をおく

2 急冷ボタンを押して「急冷凍」表示を点灯させる※

3 約90分で「急冷凍運転」を自動終了

途中で止めるときは急冷ボタンを押して表示を消灯させる

●「急冷凍」中は冷凍室を優先して冷却しますので、特に冷蔵室のドア開閉が多いときなど冷蔵室の温度が上がりやすくなります。

●あたたかいごはんなどをそのまま冷凍することができます。熱い食品を入れる場合は、やけどをする可能性がありますので、ご注意ください。50～60℃まで冷ましてから入れることをおすすめします。

●「急冷凍（急速製氷）」終了後の60分間は、再度急冷ボタンを押しても、表示は点灯しますが、運転は行いません。60分経過後運転を開始します。

●食品がアルミトレイにはりつくことを防ぐため、必ずラップをしてください。

●食品は薄く小分けにすると、中心まで速く凍るだけでなく、取り出しやすく便利です。

※操作終了後、一定の時間が経過すると表示は消灯します。

お困りのときは

こんなとき	お確かめください。こんな理由です。
よく冷えない 霜、露がつく アイスがやわらかい	●ドアをひんぱんにあけていませんか？ →ドアの開閉を手早くしたり、できるだけ少なくすることをおすすめします。 ●食品や袋がはさまり、半ドアになっていませんか？ →ドアを閉めた状態でパッキングにすき間がないことをご確認ください。 ●食品を無理に詰めたり、大量の食品を一度に入れていませんか？ →収納できる食品の高さを守り、ドアの開閉に影響しない量を収納してください。 →食品はすき間をあけて収納してください。 ●上段フリーザーケース、薄物ケースがきちんと取り付けられていますか。 →きちんと取り付けてください。→ P.23

パッキングにすき間が発生している状態

ご注意 ●ひんぱんにドアを開閉すると食品の温度が上がり、アイスなどはやわらかくなる場合があります。

製氷室（自動製氷機）

給水タンク

製氷ケース

製氷スコップ

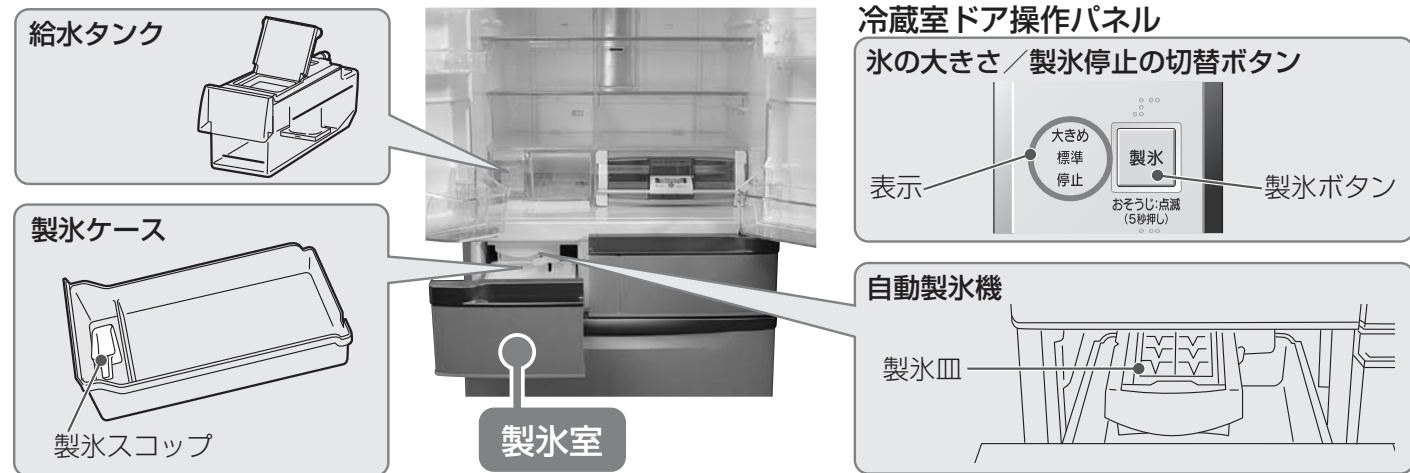
製氷室

冷蔵室ドア操作パネル

氷の大きさ／製氷停止の切替ボタン

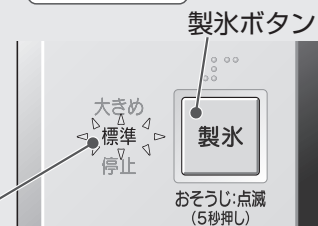
表示　製氷ボタン

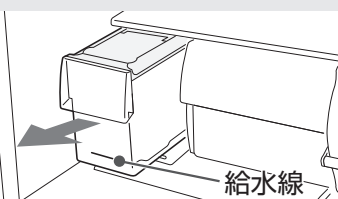
自動製氷機

製氷皿

氷をつくる

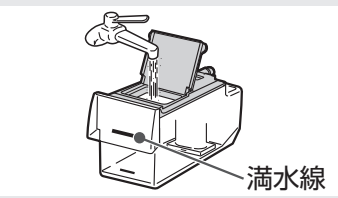
ご購入後、初めてお使いのときは、最初に「製氷おそうじ」をしてください。➔ P.24

1 自動製氷機の設定

製氷ボタンで、氷の大きさを選んでください。
➔ P.19

2 給水タンクを取り出す。

水が「給水線」まで減ったら水を補給する。

3 ふたを開けて水を入れる。

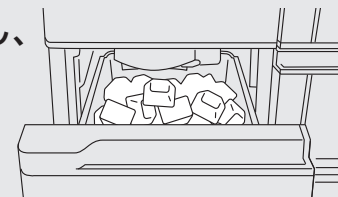
「満水線」まで入れる。

満水線

4 給水タンクをもどす。

「タンクセット位置」の線を越えるまでしっかりと押し込む。

※給水タンクを傾けると水がこぼれることがあります。水がこぼれたときは、すぐにふき取ってください。

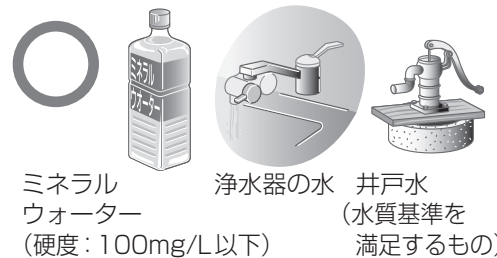
タンクセット位置

5 自動で製氷運転を開始し、製氷ケースに氷が保存されます。

お知らせ

初めてお使いのときは、最初の氷ができるまでに**24時間以上**かかることがあります。ふだんは2～3時間で8個ずつ氷ができます。

お願い

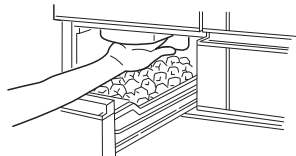
- 水道水での製氷をおすすめします。タンクの水は1週間に1度は入れ換えてください。
- ミネラル成分の多い水で作った氷を水に入れると、白い浮遊物（ミネラル成分）がでることがありますが、害はありません。これらの水は、雑菌が繁殖しやすくなるため、3日に1回を目安にタンクを洗ってください。

ミネラルウォーター（硬度：100mg/L以下）　浄水器の水　井戸水（水質基準を満足するもの）

- 故障や、変形、氷がつながるなどの原因になりますので、ご使用しないでください。

ジュース類　スポーツドリンク　炭酸飲料　お茶

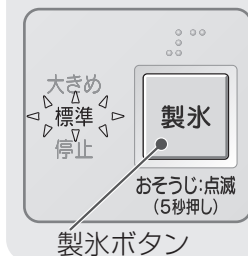
⚠警告

■自動製氷機の機械部には手を入れない

- 製氷皿が回転したとき、けがをすることがあります。

自動製氷機の設定切り替え

自動製氷機で氷を作るとき

標準氷をつくる

製氷ボタンを押して「標準」を点灯させます。

大きめ氷をつくる

製氷ボタンを押して「大きめ」を点灯させます。

製氷停止する

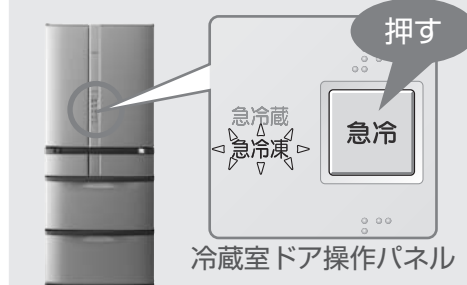
製氷ボタンを押して「停止」を点灯させると、自動製氷を停止し氷をつくりません。

急いで氷をつくる（急速製氷）

急冷ボタンを押すと「急冷凍」表示が点灯し、急速製氷運転となり製氷時間が短くなります。

※約90分で通常運転に戻ります。

お知らせ

- 製氷ボタンを押すごとに、「標準」→「大きめ」→「停止」→…の順に切り替わり、表示と操作音で設定の状態をお知らせします。
- 製氷停止に切り替える際、「停止」表示が点滅することがありますが、約20秒後に自動で消灯します。（異常ではありません）
- 製氷停止にした後は、給水タンクをよく洗い、乾かして所定の位置に戻してください。特に浄水フィルターはよく乾かしてください。（お手入れのしかたは➔ P.24）
- 製氷停止することにより、自動製氷での動作音（離氷・給水等）を止めることができます。

製氷時間と製氷能力

1回の製氷時間（1回：8個）

運転状態＼氷の大きさ	標準	大きめ
通常運転	約110分～140分	約150分～170分
急速製氷	約70分～90分	約90分～110分

製氷ケースの氷の収納量

状態＼氷の大きさ	標準	大きめ
通常状態	約90個	約60個
氷を手前にならした状態	約150個	約120個

- 次のようなときは、氷ができるまで時間が長くかかります。
  - ・初めてお使いのとき（24時間以上かかることがあります）
  - ・ドアをひんぱんに開け閉めしたとき
  - ・停電があったとき
  - ・製氷皿のお手入れをしたあと
  - ・冷蔵庫に大量の食品を一度に入れたとき
  - ・冬場など周りの温度が低いとき

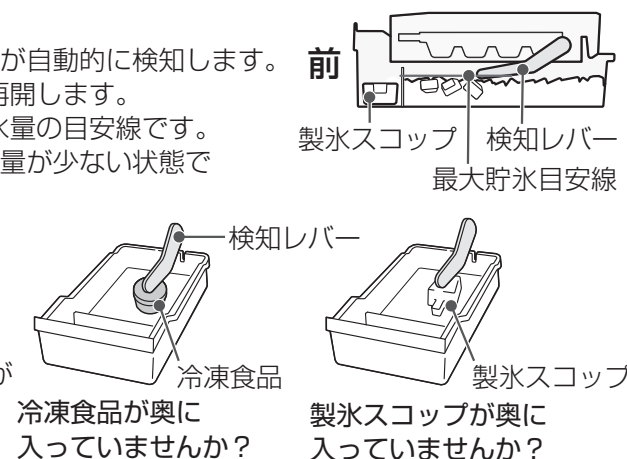
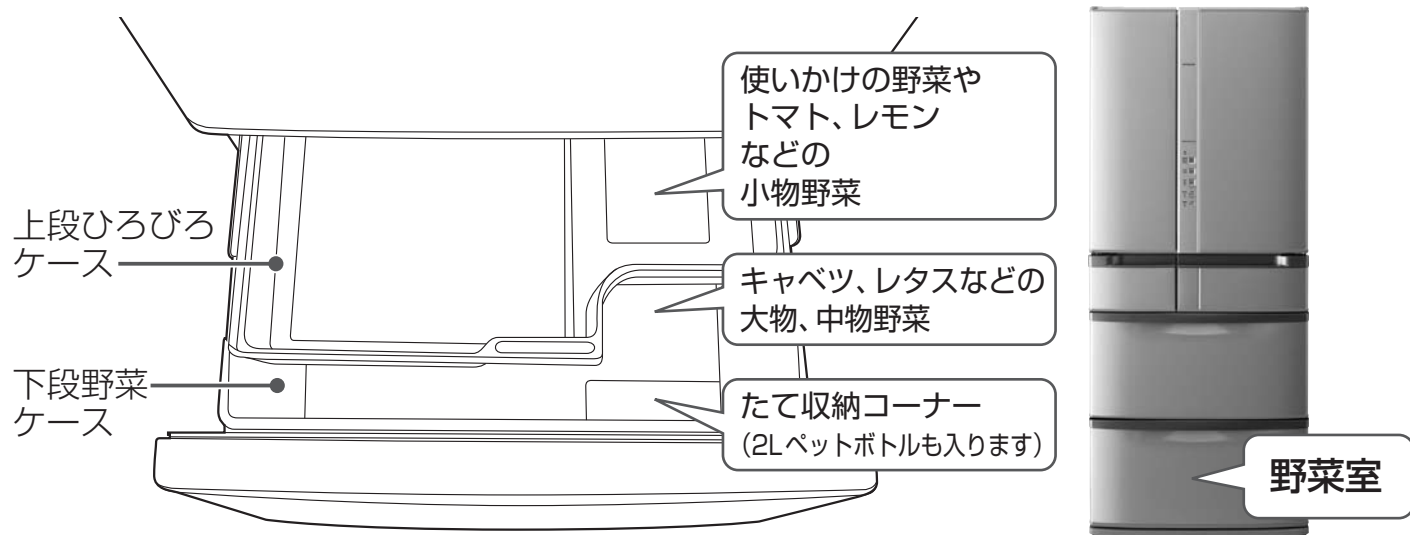
お知らせ

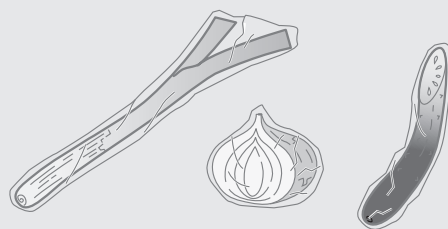
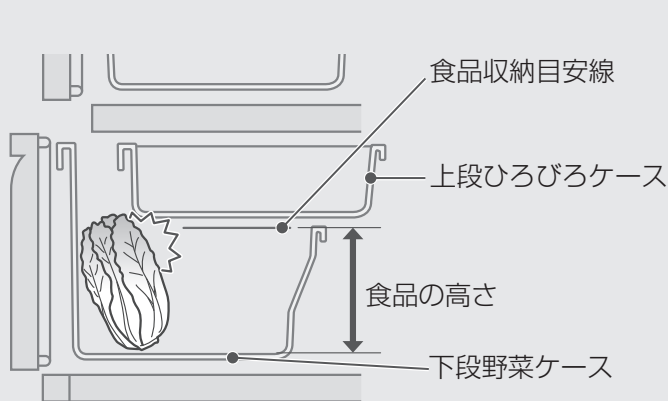
- 氷の量は自動製氷機の貯氷量検知レバー（通常は見えません）が自動的に検知します。氷が一定量になると製氷を自動停止し、少なくなると製氷を再開します。
- 最大貯氷目安線は、氷をたいらにならして製氷したときの貯氷量の目安線です。氷が部分的にたまると、早期に検知レバーが氷に当たり、貯氷量が少ない状態で製氷が停止することがあります。

お願い

- 自動製氷設定時は、製氷ケースには、氷以外の冷凍食品などを入れないでください。（氷ができなくなったり、食品が製氷機の部品に当たり、ドアが開かなくなったり、部品が破損することがあります。）

冷凍食品が奥に入っていませんか？　製氷スコップが奥に入っていませんか？

製氷室（自動製氷機）

野菜室

下段野菜ケース・上段ひろびろケース

冷気を直接野菜に当てずに、やさしくしっかり冷やします。野菜の水分でみずみずしく鮮度を保ちます。

■こんなときには野菜にラップを

- ●長ねぎ、にら、わけぎなど、他の食品へのにおい移りが気になるとき
- ●使いかけの野菜や果物を保存するとき
- ●野菜が少ないときや、包装された野菜が多いとき
- ●野菜室内の結露が気になるとき

ご注意

- ● 食品収納目安線より上に食品が出ないようにしてください。
  - ・ドアが完全に閉まらなくなり、冷えが悪くなります。
  - ・食品や各ケースを破損することがあります。
- ●ペットボトルの種類により、収納できない場合があります。
  また、ペットボトルのキャップを確実に閉めないと収納できない場合があります。
- ●外気温が低いときは、温度が低くなる場合があります。
- ●真空チルドルームが「真空氷温」または「切（氷温）」設定の場合は、温度が低くなる場合があります。

お願い

- ●野菜の量や種類によっては、上段ひろびろケースや野菜室天井に結露することがあります。
  気になるときは乾いた布でふき取ってください。
- ●野菜室のドアは、ゆっくりと開閉してください。勢いよく開閉しますと、たて収納コーナーの食品（ペットボトルなど）が転倒することがあります。

お手入れ／庫内・庫外のお手入れ

汚れに気づいたら

- ●すぐにふき取りましょう。
  見えない部分も年に一回はお手入れすることをおすすめします。
- ●やわらかい布でぬるま湯を含ませてふく。
  汚れが落ちにくい場合は、台所用中性洗剤を薄めて使い、ぬるま湯を含ませた布でふき取ってください。
  使用できない洗剤がありますので、このページの ご注意 をご覧ください。
- ●部品をはずすときは、あらかじめ食品を取り出しておいてください。

電源プラグ

●電源プラグについたほこりをそのまま放置すると火災の原因になります。年に一度はお手入れをしてください。

1. 電源プラグをコンセントから抜く。
2. 点検する。
   - ・コードに傷はありませんか？
   - ・電源プラグが熱くなっていませんか？
3. ホコリなどを取り除き、乾いた布でふく。
4. 電源プラグをコンセントにしっかり差し込む。

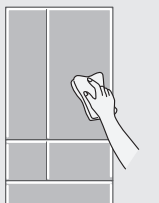
庫内・庫外のお手入れ

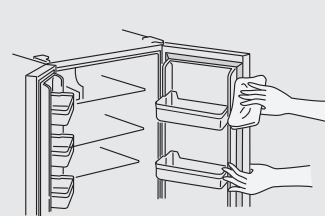
⚠警告 お手入れの際には、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

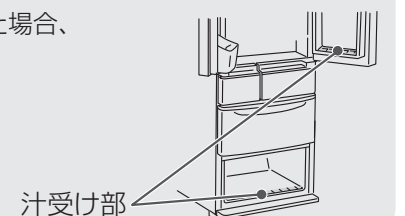
冷蔵室ドア操作パネル

- ●冷蔵室ドア操作パネルはやわらかい布で、からぶきしてください。
- ●水をかけないでください。
  故障の原因になります。

ドア表面

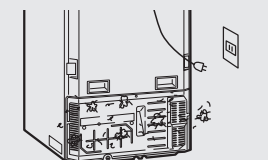
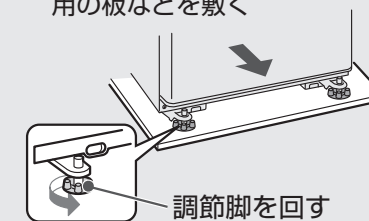
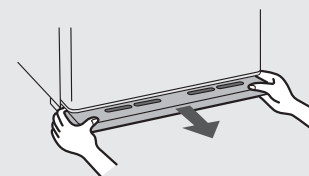
- ●ドア表面はやわらかい布にぬるま湯を含ませてふいてください。

ドアパッキング

- ●汚れやすいところなので、よくふき取ってください。

汁受け部

- ●汁が溜まったり汚れた場合、ふき取ってください。

冷蔵庫背面・床

1. **脚カバーを手前に引っ張って外す。**
   取り付けは、正面から押し込む

2. **調節脚を床から浮かせ、冷蔵庫をまっすぐ手前に引き出す**
   キズの付きやすい床では、保護用の板などを敷く

3. **背面・壁・床の汚れをふき取る**
   背面は空気の対流により、細かいホコリが付着して汚れやすいところです。

ご注意 ドア、塗装面やプラスチックを傷めたり、変色させたりする場合があります。

- ●次のものは使わないでください。
  - ・アルカリ性、弱アルカリ性の台所用洗剤、磨き粉、粉石けん、石油、熱湯、たわし、酸、ベンジン、シンナー、アルコール、漂白剤など（洗剤の「家庭用品品質表示法に基づく表示」の「液性」の欄をご確認ください。）
- ●食用油、かんきつ類の果汁、食品の汁が付いたときは、必ずふき取ってください。
- ●化学ぞうきんをご使用の際には、その注意書きに従ってください。

部品のはずしかた

下がって届くん棚

●持ち上げながら引き出してレールからはずす。

取り付けは、棚の軸をレールの溝に添わせて押し込む。

ドアポケット

●底面の左右を軽くたたきながら持ち上げてはずす。

取り付けは、最後までしっかり入れる。

固定棚

①手前に引き出して右下の爪2ヶ所をはずして取りはずす。

真空チルドケース

●手前側を軽く持ちあげてドアの軸からはずし手前に引っぱり出す。

詳しくは → P.15

ご注意 ビタミンカセットは水洗いできません。

野菜室

●ドアを手前いっぱいに開け、図のように上段ひろびろケースを引き上げる。

●ドアの手前を持ち上げ、さらにゆっくりと引き出し、ドアを傾ける。

●下段野菜ケースを真上に持ち上げる。
●取り付けの際は、下段野菜ケース左右奥側の突起を枠の角穴に入れ、下段野菜ケースのふちを枠の上に乗せるようにセットする。

高さかわるん棚・低いん棚

① 棚の奥を少し持ち上げ、手前に引き出す。

② 図のように棚を立てた後に回転させて取りはずす。

取り付けは、棚を奥面に当たるまで入れた後に棚の奥を少し持ち上げ押し込む。
（棚の爪を奥面部品へ引っ掛ける）

ご注意 棚をそのまま引き出すとドアを傷つける場合があります。

らく変えポケット

●両手で左右のツマミを同時に引いて持ち上げる。

取り付けは、両手でポケットを押し下げる。

ひっくりかえるん棚

●少し持ち上げてはずす。

製氷室・冷凍室上段

●ドアを開け、ケースを手前に持ち上げる。

取り付けは、ケース底面を枠に載せてセットする。

冷凍室下段

① ドアを開け、薄物ケース・小物ケースをそれぞれ引き出す。

② 大物ケースを真上に持ち上げる。

取り付けは、大物ケースの左右の突起を、枠の角穴に入れてセットする。
また、小物ケース左右の爪を大物ケースの外側にセットする。

■引き出しドアの取り付けかた

製氷室・冷凍室上段

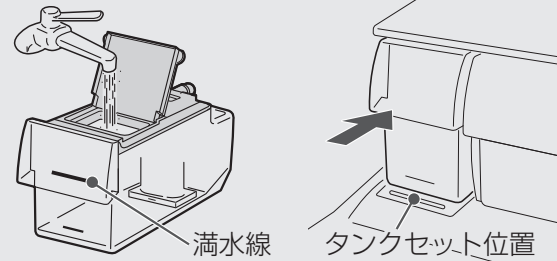
野菜室・冷凍室下段

自動製氷機のお手入れ

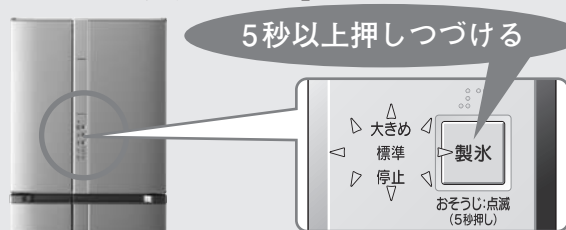
製氷おそうじ ●初めてお使いのとき ●1週間以上使わなかったとき

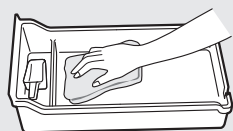
製氷皿や給水路を水洗いできます。

1 製氷ケース内に水が流れ出ますので、氷を他の容器に移し、冷凍室に移動します。

2 満水線まで水を入れて、セットする。

●給水タンクの水がこぼれないよう傾けずにタンクセット位置の線を越えるまでまっすぐ押し込む。

3 表示を点灯させてから製氷ボタンを5秒以上押しつづける。

大きめ・標準・停止の3つの表示が点滅し、ブザーが鳴りだして「製氷おそうじ」がスタートします。

約3分間3つの表示が点滅し、ブザーが鳴りつづけます。
※ドアアラームを止めているときでも、ブザーは鳴ります。
表示が点滅している間は、「製氷おそうじ」をおこなっています。
「製氷おそうじ」中に製氷室または冷凍室を開けると動作を中断する場合がありますので、終了するまでドアの開閉を行わないでください。

4 約3分後ブザーが鳴り終り表示の点滅が終わったら、製氷ケース内の氷や水を取り除き、きれいにふき取ります。
(ケースを取りはずす際、水こぼれにご注意ください。)

一時的に他の冷凍室に移動した氷を製氷ケース内に戻します。

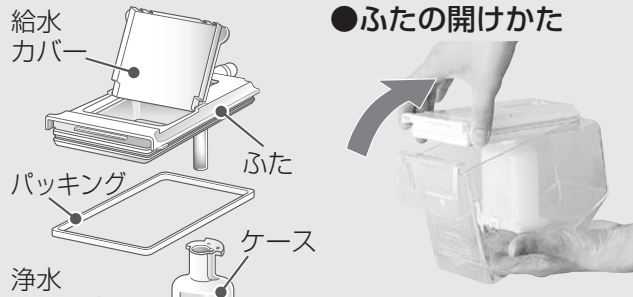
給水タンクに水が残りますが、そのままお使いいただけます。

給水タンク

●お手入れの目安

水道水	1週間以内に1回
ミネラルウォーター、井戸水、浄水器の水、湯冷ましなど(塩素を含まない水)	3日に1回

塩素を含まない水は、水道水に比べ水アカ・ぬめりが発生しやすくなりますので、雑菌の繁殖を防止するために定期的に水洗いしてください。
●パッキングはふたからはずし、やわらかいスポンジで水洗いしてください。

ふたの後側から差し込み、矢印の方向へ閉めてください。

浄水フィルター

(交換の目安は約3~4年) ➡P.35

1 ケースをまわしてふたからはずす。

2 浄水フィルターのつまみを指で引っ張ってケースからはずす。

3 やわらかいスポンジなどで水洗いする。

洗剤などは使わないでください

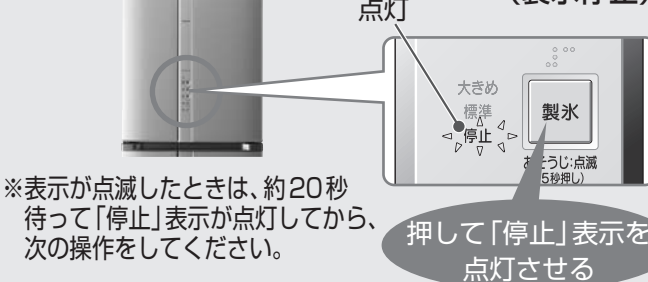
お知らせ

●製氷停止にして、自動製氷機をしばらくお使いにならない時は、給水タンクをよく洗い乾かして所定の位置に戻してください。
●特に浄水フィルターは良く乾かしてください。

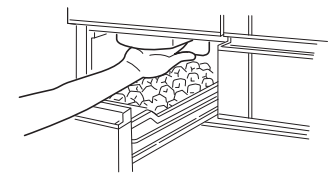
⚠警告

■自動製氷機の機械部には手を入れない
●製氷皿が回転したとき、けがをすることがあります。

製氷皿 ●お手入れは年1回

1 製氷皿への給水を止めるため製氷ボタンを押して、「停止」表示を点灯させてください。(製氷停止)

※表示が点滅したときは、約20秒待って「停止」表示が点灯してから、次の操作をしてください。

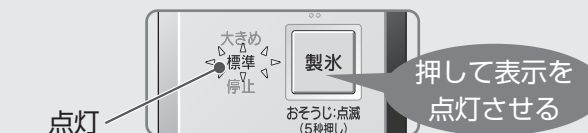
押して「停止」表示を点灯させる

2 製氷室のドアを開ける。
1 レバーをおろして 2 フレームを引き出す。
3 カバー(▲部)を手前側に起こして
4 フレームから製氷皿を取りはずす。

3 製氷皿を空にして、流水で軽く洗い流す。

4 1 製氷皿をセットして、2 カバーを閉じる。3 フレームを水平にして奥まで押し込み、4 レバーを上げる。

5 製氷ボタンを押して、「大きめ」か「標準」の表示を点灯させてください。(自動製氷がスタートします)

お知らせ

●製氷皿の「フレームが奥まで押し込めない」ときは製氷皿を駆動するモータが動いた可能性があります。
一度製氷皿をはずして、フレームを押し込み製氷室のドアを閉じてから約1分間待ってください。
製氷皿駆動モータの準備が完了し、取り付けできます。

お困りのときは

修理を依頼される前に、次の点をもう一度お調べください。それでも具合の悪いときは、お買い上げの販売店か弊社お客様相談窓口にご連絡ください。

ご購入後、お使いはじめによくあるお問い合わせ

お使いはじめに よく冷えない 製氷できない	●夏場や食品が多い場合は、冷えるまでに時間がかかります。 →据付直後は、**約4〜24時間以上**かかることがあります。 ●お使いはじめは、庫内が冷えてから製氷運転を開始するために時間がかかります。 食品の量やつめかたにより、**最初の氷ができるまでに24時間以上**かかることがあります。 →ドアの開閉を手早くしたり、できるだけ少なくしてください。 →食品はすき間をあけて収納してください。

こんなとき	お確かめください。こんな理由です。
操作パネルが反応しない	
操作パネルが反応しない	●「チャイルドロック」が有効になっていませんか？ ➔P.32 ●冷蔵室ドアを開けていませんか？閉めてから操作してください。
自動製氷がうまくいかない	
氷がまったくできない	●冷蔵室ドア操作パネルの「停止」表示が点灯していませんか？ ➔P.19 ●給水タンクが「タンクセット位置」より奥まで押し込まれていますか？ ➔P.18 ●製氷ケースの奥に氷以外のものが収納されていませんか？ ➔P.19
氷がなかなかできない 製氷皿に水が入らない	●ドアを頻繁にあける、大量の食品を一度に収納するなどしていませんか？ 庫内が十分に冷えていないおそれがあります。 →庫内が冷えるまでできるだけドアのあけしめを少なくしてみてください。 →収納している食品同士の間隔をできるだけあけてみてください。 ●冬場は氷ができるまでに１回あたり４時間以上かかることがあります。 ●「停止」表示が点灯した状態から「氷の大きさ（大きめ・標準）」表示を点灯させた直後は、通常より氷ができるまで時間がかかることがあります。 ●食品や袋がはさまり、半ドアになっていませんか。 →扉を閉めた状態でパッキングにすき間がないことをご確認ください。
氷に突起ができる	●製氷皿の溝部分に溜まった水が凍ったものです。異常ではありません。
貯めた氷が丸くなる 氷同士がくっつく	●長期間古い氷を貯めたままだと、自然に小さくなったりくっついたりします。 ●ドアを頻繁にあける、大量の食品を一度に収納するなどしていませんか。庫内の温度が上がり、貯めた氷が小さくなったりくっついたりします。 ●一時的にドアや引き出しが半ドアになっていた可能性があります。
できあがった氷が小さい	●給水タンクの水が残り少なくなると、小さな氷ができることがあります。 →給水タンクの満水線まで水を入れてみてください。 ➔P.18
できあがった氷がはじめからくっついている	●製氷皿に入る水の量がばらつくと、くっついた氷ができることがあります。 給水タンクの満水線まで水を入れてみてください。 ➔P.18 ●製氷皿に傷がつくと、氷ができたときに製氷皿からはがれにくくなり、くっついた氷ができることがあります。何度も同じことが起きる場合は、販売店にご相談のうえ、製氷皿を交換してみてください。
氷に白いにごりがある	●水の中に溶け込んでいた空気の細かい泡が氷の中に閉じこめられた為です。 →異常ではありません。 ●ミネラルウォーターで氷をつくりましたか？ →水に含まれるミネラル分が凍って白くにごることがあります。 水に溶けても白くにごることがありますが、害はありません。
製氷皿のフレームが引き出せない	●製氷「大きめ」・「標準」表示が点灯していませんか？ →自動製氷機が氷を作っている間は引き出せません。「停止」表示を点灯させてください。 「停止」表示が点滅しだしたときは、約20秒待って「停止」表示が点灯してから引き出してください。 ➔P.25

こんなとき		お確かめください。こんな理由です。
冷えない		
冷えない 霜・露がつく アイスがやわらかい	食品の収納状況を確認	●食品や袋がはさまり、半ドアになっていませんか？ →ドアを閉めた状態でパッキングにすき間がないことをご確認ください。 ●食品を無理に詰めたり、大量の食品を一度に入れていませんか？ →収納できる食品の高さを守り、ドアの開閉に影響しない量を収納してください。 →食品はすき間をあけて収納してください。 ●上段フリーザーケース、薄物ケースがきちんと取り付けられていますか。 →きちんと取り付けてください。 ➔P.23 パッキングにすき間が発生している状態
	据付を確認	●冷蔵庫を据え付けた場所やすき間、周りの状況などによって冷えにくい場合があります。正しく据え付けされているかご確認ください。 ➔P.6
	設定温度を確認	●温度設定が「弱」になっているとよく冷えない場合があります。 →よく冷えない部屋の設定温度を「中」または「強」に変更してください。 ➔P.13 ●夏場など、冷蔵庫の周囲の温度が高くなっていませんか？ →よく冷えない部屋の設定温度を「強」に変更してください。
	冷蔵庫の使い方を確認	●冷蔵庫のドアを開けている間は庫内の温度が少しずつ上がります。開け閉めがひんぱんまたは長い間ドアを開けたままにしておくと、庫内の温度が下がりにくくなります。 →開け閉めの回数を少なくする、手早くするなどしてみましょう。

霜や露がつく

庫内やドア・引き出しの枠に霜や露がつく	●一時的にドアや引き出しが半ドアになっていた可能性があります。 →引き出しやドアを閉める際はぴったりとしまっているか確認しましょう。 ●開け閉めの回数が多いとき、長時間開け続けた可能性があります。 →開け閉めの回数を少なくする、手早くするなどしてみましょう。 ●結露防止用ヒータを弱くしたとき、湿度が高いときは回転しきり部に露がつく場合があります。 ➔P.31
冷蔵庫の外側に露がつく（外装、ドアパッキング、ドア、引き出しなど）	●雨の日など屋内の湿度が高いときは露がつくことがあります。 ●外の暖かい空気が庫内やドア枠に触れると霜や露がつくことがあります。 →乾いた布でふき取ってください。
野菜室の中が結露する	●野菜室は他の部屋より湿度が高くなっています。（野菜を乾燥させずに長持ちさせるため） →気になるときはラップをかけて収納してください。 ●結露が多くなると野菜室のケースなどに水が溜まる場合があります。 →乾いた布でふき取ってください。

冷え過ぎる

冷え過ぎる 凍ってしまう	●温度調節が「強」になっていませんか？→「中」にしてください。 ➔P.13 ●周囲温度が５℃以下ではありませんか？→温度調節を「弱」にしてください。 ➔P.13 ●冷気吹き出し口の手前には置かないでください。 ●真空チルドルームが「真空氷温」または「切（氷温）」設定の場合は、野菜室の温度が低くなる場合があります。

お困りのときは ～つづき～

こんなとき	お確かめください。こんな理由です。

音が気になる

こんなとき	お確かめください。こんな理由です。
冷蔵庫から聞こえる音がうるさい	●正しく据え付けられていない可能性があります。 原因：床がたわんでいる／処置：丈夫な板を敷いてからその上に据え付けてみましょう。➔P.6 原因：冷蔵庫が壁や家具などに当たっている／処置：冷蔵庫の周りにすき間をあけて据え付けてみましょう。 原因：脚カバーが外れている／処置：脚カバーをしっかり取り付けてください。➔P.6 ●ご購入後、使いはじめなど冷蔵庫が冷えていないときや、ドアの開け閉めが多いとき、周囲の温度が高いときはコンプレッサーが高速運転をするため、音が大きく感じることがあります。 →十分に冷えれば音は小さくなります。
運転音が長い	●コンプレッサーをゆっくり運転させて、省エネ運転をしているためです。
ときどき音が大きくなる	●庫内の温度変化に合わせて運転する力を変更しているためです。
その他 このような音が聞こえたときは	●次のような音は正常な動作のときに発生するもので、異常ではありません。

原因	処置
床がたわんでいる	丈夫な板を敷いてからその上に据え付けてみましょう。➔P.6
冷蔵庫が壁や家具などに当たっている	冷蔵庫の周りにすき間をあけて据え付けてみましょう。
脚カバーが外れている	脚カバーをしっかり取り付けてください。➔P.6

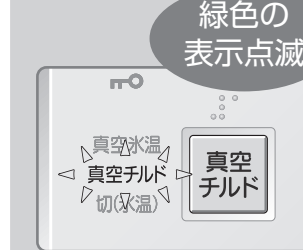
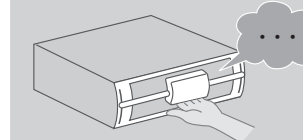
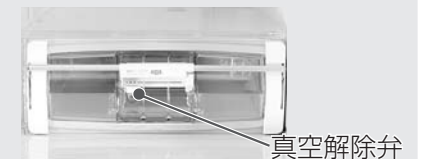
音の種類	音の発生源
・水の流れるような音（チョロチョロ） ・衝突するような音（コツコツ） ・沸騰するような音（ボコボコ） ・肉を焼くような音（ジュー）	冷蔵庫を冷やすための冷媒が流れる音、霜取りの際に水が流れる音、蒸発する音です。
・きしむような音（ピシッ）	冷蔵庫の温度が変化するときや、真空チルドルームの気圧が変化するとき部品がきしむ音です。
・何か引っかかるような音（コトコト） ・うなるような音（ブー） ・扉を閉めた直後の音（ブーン）	庫内の温度を制御する電気部品や真空ポンプが動作する音です。
・自動製氷機の音 （ギュイーン） （ガラガラ） （ゴボゴボ）	自動製氷機の製氷皿から氷が離れるときや製氷皿に水を入れるときの音です。給水タンクが空のときも2時間ごとに音がします。「停止」表示を点灯させると製氷停止となり音がでなくなります。➔P.19
・ときどきする音（カタカタ）	庫内を冷やすための運転を始めるときの音です。

冷蔵庫が熱くなる

こんなとき	お確かめください。こんな理由です。
冷蔵庫の側面が熱くなる 足元から暖かい風が出る	●冷却装置が運転するときに発生する熱を外に逃がすために熱くなることがあります。 →据え付け直後や夏場は50～60℃になることもありますが、安全および性能上問題はありません。

こんなとき	お確かめください。こんな理由です。

真空チルドが気になる

こんなとき	お確かめください。こんな理由です。
「真空チルド」または「真空氷温」表示が点滅するとき 緑色の表示点滅	真空機能が正常に動作していないことがあります。つぎのことを確認してください。 ●ハンドルを最後までしっかり押し下げてロックしていますか？ →ロックされていないと真空になりません。 ●真空パッキンと受け部の間に食品の袋、髪の毛などの挟まりはありませんか？ →わずかな食品カスが挟まっていても真空になりません。取り除いてください。 ●真空パッキン・真空パッキン受け部の汚れはありませんか？ →汚れているときはふき掃除をしてください。➔P.15 ●真空解除弁（青色）がはずれたり、緩んでいませんか？ →ハンドルの穴にしっかりと取り付けてください。
開けるとき、「シュー」と音がしない	●真空パッキン部に食品の包装などが挟まったり、汚れや糸くず、ごみが付着していたりしていませんか？➔P.15 →食品の包装が挟まったときは、取り除いてください。 →汚れた真空パッキンはお手入れしてください。 ●真空パッキンやハンドル下部にある真空解除弁（青色）がはずれたり、緩んでいませんか？ ●「真空氷温」・「真空チルド」ボタンの表示は点灯していますか？ ●ハンドルが上に上がっていませんか？ ●真空チルドルーム開閉直後は、真空ポンプが動作を始める準備状態となるため「シュー」と音がしないことがありますが、故障ではありません。
真空になっているかわからない	●開けるときに「シュー」と真空解除音がすれば、正常です。
ハンドルのロックができない	●真空パッキン部や真空チルドケースの奥に食品などが挟まっていませんか？➔P.15 ●真空チルドケース手前とドアの軸が外れていませんか？
真空チルドルームの周りからの「ブーン」という音と振動がする	●真空にするためのポンプの動作する音です。異常ではありません。 ●夜間など音が気になるときは、真空ポンプの動作を停止することができます。 ●音や振動がひんぱんにあるときは、ドアに物が挟まっているか真空パッキンが汚れている場合があります。➔P.15
真空チルドルームの内部やドア周辺に水滴や霜がつく	●水分の多い食品はラップしていただくことをおすすめします。 ●もしも水滴や霜が付いた場合は乾いた布でふき取ってください。
真空チルドルームの食品が凍る	●ナスやキュウリなど低温に弱い野菜を収納していませんか？➔P.2 ●設定が「真空氷温」や「切（氷温）」になっていませんか？➔P.14

真空解除弁

お困りのときは ～つづき～

こんなとき	お確かめください。こんな理由です。

においが気になる

氷がにおう	●給水タンク、浄水フィルターが汚れたり、氷が古くなっていませんか？ →「ぬめり」「水アカ」防止のため、定期的に水洗いしてください。 ➔ P.24 ●水道水中の塩素分が凝縮されるため、塩素が強くにおうことがあります。
庫内がにおう	●においの強い食品をそのまま収納していませんか？ →脱臭機能は全てのにおいを完全に取り除くことはできません。 ラップをかけるなど密封して収納してください。
プラスチックのにおいがする	●庫内にプラスチック部品を多く使用しているためですが、十分に冷えるにしたがってにおいは徐々に少なくなります。念のため、部屋の風通しをよくしてください。

ドアの段差や傾きが気になる

左右のドアに段差がある ドアが傾いている	●据え付け場所が水平でない可能性があります。床材がやわらかく、収納物の重みが加わり脚が沈むなどによりドアがずれることがあります。 →性能上問題なくそのままお使いいただけますが、気になるときは、左右の調節脚で調整してみてください。 ➔ P.6 →冷蔵庫本体が傾く場合は、厚さ1cm以上の丈夫な板を敷いてください。
ドアを閉めた直後開けようとすると重い	●庫内に入った空気が急に冷やされて、圧力が一時的に低くなるためです。
ドアを閉めると他のドアが開く	●各室は冷気通路でつながっているため、ドアを閉める風圧で他のドアが一瞬開くことがあります。

その他

本体に触れるとわずかに電気を感じる	●冷蔵庫が静電気を帯びる場合がありますが、安全上問題はありません。 →気になる場合はアース工事をおすすめします。 ➔ P.7
テレビ・ラジオなどに雑音、映像の乱れが生じる	●この冷蔵庫から極わずかに発生する電磁波のためです。 →テレビ・ラジオ・インターフォンなどから離して据え付けてください。 →電源はアンテナ線などから離れたところからとり、アース工事をおすすめします。 ➔ P.7
プラスチック部品に傷のような細い線がある	●プラスチックを成形する際に発生する樹脂の流れの跡です。 透明な部品について特に目立ちやすくなっていますが、強度上の問題はなく割れに至ることはありません。
扉面や側面・天面に波打ちや歪みがある	●冷蔵庫の製造工程上、わずかな波打ちや歪みが生じます。 光源の位置や明るさなどによっては目立つことがありますが、性能上は問題ありません。
操作パネルが消灯している	●操作終了後、一定の時間が経過すると全ての表示文字が消灯します。 点灯させるにはいずれかのボタンを押してください。

こんなときには

冷蔵室ドア操作パネルの「確認」表示が点滅している

点滅
確認

●自動製氷機・温度制御または霜取り装置などに異常があることをお知らせしています。
●下表の内容をご確認いただきそれでも点滅が消えない場合や点滅パターンが違う場合は、お買い上げ販売店にご相談ください。

点滅パターン	考えられる原因	ご確認いただきたいこと
3回点滅	製氷皿や貯氷量検知レバーに、食品などが当たっている可能性があります。	製氷室を空にして「製氷おそうじ」を実施してください。

停電した

●復旧するまでの間はドアの開閉を減らし、新たな食品の収納はさけてください。

長期間使わない

●電源プラグを抜いて庫内や自動製氷機のお手入れをし、2～3日間全てのドアを開けて乾燥させてください。 ➔ P.21～25

霜取りをする

●この冷蔵庫は自動で霜取りをしますので、操作は必要ありません。
解けた水は蒸発皿にたまり、自動的に蒸発します。

収納できる食品の重さ

●棚やケースに収納できる食品の重さは次の通りです。

	部品名	R-SF62ZM	R-SF57ZM
冷蔵室	下がって届くん棚	7.0kg	7.0kg
	低いん棚	9.0kg	8.0kg
	高さかわるん棚	19.0kg	16.5kg
	ひっくりかえるん棚・固定棚	19.0kg	16.5kg
	真空チルドルーム上の棚	6.0kg	5.0kg
	真空チルドケース	3.0kg	2.5kg
	小物・卵ケース	1.5kg	1.5kg
製氷室	製氷ケース	自動製氷機で作った氷以外は入れないでください。 ➔ P.19	
冷凍室上段	上段フリーザーケース	7.5kg	6.0kg
冷凍室下段	薄物ケース	5.3kg	4.8kg
	小物ケース	7.5kg	7.0kg
	大物ケース	13.5kg	12.5kg
野菜室	上段ひろびろケース	8.5kg	7.5kg
	下段野菜ケース	16.0kg	14.5kg

結露防止用ヒータ(回転しきり部)を弱くしたいとき

●湿度が低いときに結露防止用ヒータを弱く設定すると節電することができます。
節電はレベル1とレベル2があります。レベル2はより節電となります。
結露防止用ヒータを弱くしたとき、湿度が高いときは回転しきり部に露がつく場合があります。露が付くときは設定を解除してください。
1.冷凍室下段ドアを開ける。
2.冷蔵室ドアを閉めた状態で冷蔵室ドア操作パネルの急冷ボタンを「ピーッ」音がするまで3秒以上押しつづける。(節電レベル1)
3.冷蔵室ドア操作パネルの急冷ボタンを「ピーッピーッ」音がするまで3秒以上押しつづける。(節電レベル2)
4.冷凍室下段ドアを閉める。
5.急冷ボタンを押して元の設定に戻す。
設定を解除するときは、節電レベル2の状態で同じ操作をしてください。
アラーム音が「ピピッ」となり設定が解除されます。

ピッ 約3秒 ピーッ
急冷蔵
急冷凍
急冷
3秒以上押しつづける

温度をもっと細かく調節したいとき

冷蔵室と冷凍室の温度設定は「弱」「中」「強」をさらに細かく調節できます。
1.冷凍室下段ドアを開ける。
2.冷蔵室ドア操作パネルの冷蔵ボタンを「ピーッ」音がするまで5秒以上押しつづける。
3.冷蔵、冷凍ボタンを押して調節する。1回押すごとに1段階強くなります。(「強」で押すと「弱」に戻る。)
4.細かい調節をやめたいときは、1と2の操作をしてください。
アラーム音が「ピピッ」となり、通常の調節に戻ります。

ドアアラーム／チャイルドロック

ドアアラーム

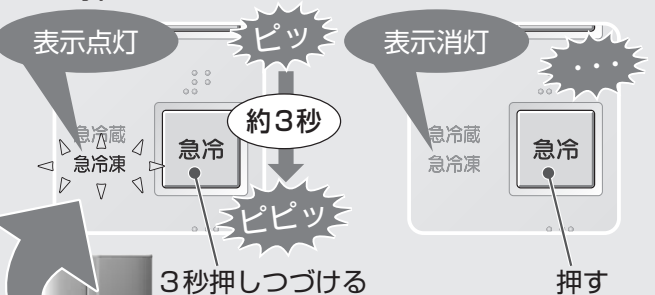
ドアの開放状態が１分以上になると、下表のようにアラーム音が鳴り、冷蔵室ドア操作パネルの文字が点滅し、音と光でドアが開いていることをお知らせします。

ドアの開放時間	アラーム音	冷蔵室ドア操作パネル
１分後	ピッピッピッ	点滅
２分後	ピッピッピッピッピッ	点滅
３分後以降	連続で鳴り続けます。	点滅

ドアアラーム機能は、冷蔵室、製氷室、冷凍室下段についています。
（冷凍室上段、野菜室には対応していません）

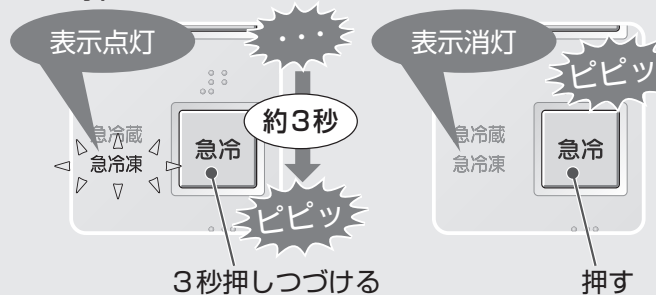
ドアアラームを止めることができます

■アラームを止めるときは

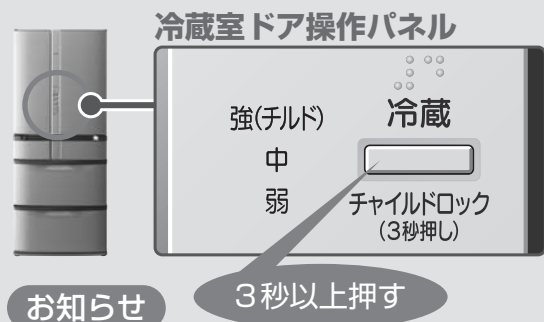
① 急冷ボタンを“ピピッ”と鳴るまで“約３秒”押しつづける。

② 再度、急冷ボタンを押し表示を消す。

■再びアラームを鳴らすときは

① 急冷ボタンを“ピピッ”と鳴るまで“約３秒”押しつづける。

② 再度、急冷ボタンを押し表示を消す。

- ドアアラームの設定は全てのドアを閉じた状態で行ってください。
- ドアアラームの設定を変更すると、急冷機能の設定が変わりますので、ボタンを押して設定を元に戻してください。
- ドアアラームを止めると、冷蔵室ドア操作パネルのボタンの点滅も止まります。
- 据え付け時は、ドアアラームが鳴る状態に設定されています。
- 電源プラグを抜き差ししたり、停電復帰した後はドアアラームが鳴る状態に戻ります。

チャイルドロック機能の設定

冷蔵ボタンをピッピッと音がするまで３秒以上押しつづけることによりチャイルドロック機能「設定」「解除」を選択できます。

チャイルドロックを設定するとき

点灯させてください。

チャイルドロックを解除するとき

消灯させてください。

お知らせ

- 操作パネルボタンの誤操作や、小さなお子さまのいたずらを防止することができます。
- 🔑（チャイルドロック）表示が点灯しているときは、その他のボタンを押しても動作しません。
- チャイルドロックの設定は全てのドアを閉じた状態で行ってください。

冷凍室の性能／別売部品

冷凍室の性能

この冷蔵庫の冷凍室の性能は ＊＊＊＊（フォースター）です。
冷凍室の性能は、日本工業規格（JIS C9607）に定められた方法で試験したときの、冷凍負荷温度（食品温度）によって表示しています。

■ JISの試験方法は次の通りです。
- 冷蔵室の温度が0℃以下とならない範囲で、最も低い温度になるよう温度調節をして、試験を行います。
- 冷蔵庫の据え付け場所の温度は、15～30℃の範囲を基準としています。
- 冷凍室定格内容積100L当り4.5kg以上の食品を24時間以内で－18℃以下に凍結できる性能の冷凍室を、フォースター室としています。

記号	＊＊＊＊ フォースター
冷凍負荷温度（食品温度）	－18℃以下
市販冷凍食品の貯蔵期間の目安	約3ヵ月

■ **市販冷凍食品の貯蔵期間**
冷凍食品の貯蔵期間は、食品の種類・店頭での貯蔵状態・冷蔵庫の使用条件などによって異なりますので、一応の目安としてご覧ください。

別売部品

次の部品を交換する際は、必ず販売店に型式名をご指定のうえ、専用の部品をお買い求めになってください。

浄水フィルターの交換

- 古くなったら交換してください。（約3～4年が目安です。）
- 交換用浄水フィルターのご注文
  部品番号：RJK-30をご指定のうえ、お買い上げの販売店でお買い求めください。
  （浄水フィルターをはずしても製氷能力は変わりません。）

真空パッキンの交換

- 破損した場合は交換してください。
- 交換用真空チルドパッキンのご注文
  部品番号をご指定のうえ、お買い上げの販売店でお買い求めください。

	部品番号
R-SF62ZM型	R-Y6000 321
R-SF57ZM型	R-Y5400 321

仕様／冷蔵庫の消費電力量について

仕　様

型　式		R-SF62ZM	R-SF57ZM
種　類		冷凍冷蔵庫	
定格内容積	全体	616L	565L
	冷蔵室	320L	290L
	野菜室	111L〈 73L〉	108L〈 65L〉
	冷凍室	185L〈103L〉	167L〈 91L〉
外形寸法	幅	750mm	685mm
	奥行	728mm	728mm
	高さ	1,818mm	1,818mm
定格電圧		100V	
定格周波数		50/60Hz 共用	
電動機の定格消費電力		100W	100W
電熱装置の定格消費電力		194W	184W
年間消費電力量		冷蔵室ドア内側の品質表示ラベルに表示してあります。	
質量		109kg	104kg

●「定格内容積」は、日本工業規格（JIS C9801）に基づき、庫内部品のうち冷やす機能に影響がなく、工具無しにはずせる棚やケース等を、はずした状態で算出したものです。「定格内容積」には、「食品収納スペース」と「冷気循環スペース」を含みます。

●〈　〉内は、「食品収納スペースの目安」です。引き出し式貯蔵室（野菜室，冷凍室）の場合、「定格内容積」と併せ「食品収納スペースの目安」を表示しています。

冷蔵庫の消費電力量について

■年間消費電力量は、JIS C 9801（2006年版）で決められた測定方法と計算方法において得られた値を表示しております。

■使用時の消費電力量は、設置の仕方、各庫内の温度設定、周囲温度や湿度、ドア開閉頻度、新しく入れる食品の量や温度、使い方等により変動する場合があります。

	JIS C 9801（2006年版）消費電力量測定方法			
種　類	冷凍冷蔵庫 「スリースター」「フォースター」機種		冷蔵庫	冷凍庫
庫内温度	冷凍室	冷蔵室	冷蔵室	冷凍室
	−18℃以下	4℃以下	4℃以下	−18℃以下
ドア開閉回数	8回／日	35回／日	35回／日	8回／日
周囲温度	30℃及び15℃			
周囲湿度	30℃測定時：70±5%　　15℃測定時：55±5%			
消費電力量の表示	JIS年間消費電力量（kWh ／年） （周囲温度30℃測定による1日当りの消費電力量180日分と周囲温度15℃測定による1日当りの消費電力量185日分の合計）			

保証とアフターサービス

保証書（別添）

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。なお、**食品の補償等、商品修理以外の責はご容赦ください。**

保　証　期　間

お買い上げの日から1年間です。（ただし、冷凍サイクル・庫内冷却器用ファンおよびファンモーターは、5年間です。）
なお、保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

補修用性能部品の保有期間

冷蔵庫の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後9年です。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

転居されるときは

ご転居により、お買い上げの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。ご転居先での日立の家電品取扱店を紹介させていただきます。

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店またはTEL0120-3121-68にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは（出張修理）

26〜30ページにしたがって調べていただき、なお異常があるときは、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

■ ご連絡していただきたい内容

アフターサービスをお申しつけいただくときは、下のことをお知らせください。

品　名	日立冷凍冷蔵庫
型　式	R-SF62ZM R-SF57ZM（冷蔵室ドア内側の銘板に記載されている型式をお知らせください。）
お買い上げ日	
故障の状況	できるだけ詳しく
ご住所	付近の目印等もお知らせください。
お名前	
電話番号	（　　　）　　−
訪問希望日	

※型式は保証書にも記載されています。

■ 保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って、販売店が修理させていただきます。

■ 保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

■ 修理料金のしくみ

修理料金 ＝ 技術料 ＋ 部品代 ＋ 出張料
などで構成されています。

技術料	診断、部品交換、調整、修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器などの設備費、一般管理費などが含まれます。
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。
出張料	商品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。